

# '93学生募集要項

KANAZAWA UNIVERSITY

(一般選抜)



平成5年度

金沢大学



出願手続から入学までの日程

事 項	前 期 日 程		A 日 程		後 期 日 程	
	経 理 学 部 医 学 部 薬 学 部 工 学 部	工 学 部 薬 学 部 医 学 部 経 理 学 部	文 学 部 教 育 学 部 法 学 部	法 学 部 教 育 学 部 文 学 部	経 理 学 部 医 学 部 薬 学 部 工 学 部	工 学 部 薬 学 部 医 学 部 経 理 学 部
出 願 期 間	1 月 25 日 ( 月 ) ～ 2 月 2 日 ( 火 )					
第一段階選抜の合格者発表					2 月 16 日 ( 火 ) まで	
受 験 票 発 送					2 月 8 日 ( 月 )	
個 別 学 力 検 査	2 月 25 日 ( 木 ) 教育学部の一部 2 月 25 日 及び 26 日				3 月 11 日 ( 木 )	
合 格 者 発 表	3 月 10 日 ( 水 )				3 月 20 日 ( 土 )	
合 格 通 知 書 交 付	3 月 12 日 ( 金 ) } 3 月 13 日 ( 土 )		3 月 26 日 ( 金 ) ～ 3 月 27 日 ( 土 )			
入 学 手 続	3 月 12 日 ( 金 ) } 3 月 13 日 ( 土 )		3 月 26 日 ( 金 ) ～ 3 月 27 日 ( 土 )			
追 加 合 格 開 始	3 月 28 日 ( 日 ) ～					
入 学	4 月					

目 次

〔平成5年度金沢大学入学選抜試験〕		(4) 第2志望	37
1	平成5年度入学者の選抜	1	
2	出願資格	1	
〔A日程・前期日程〕		(5) 平成5年度入学者選抜の実施教科・科目等について	38
1	募集人員	4	
2	入学者選抜方法等	6	
(1)	入学者選抜方法	6	
(2)	学内併願	6	
(3)	第2志望	6	
(4)	平成5年度入学者選抜の実施教科・科目等について	7	
(5)	実技検査	13	
(6)	配点	17	
(7)	試験期日及び試験時間割	19	
(8)	試験場	20	
(9)	健康診断	20	
3	出願期間	20	
4	出願手続	20	
(1)	出願方法	20	
(2)	出願に必要な書類等	22	
(3)	出願書類等の提出先	23	
(4)	入学志願票等記入要領	23	
5	身体に障害のある者の出願	29	
6	受験票等の送付	29	
7	合格者発表	29	
8	欠員補充の方法	30	
9	入学手続	30	
10	入学試験に関する問い合わせ	32	
11	情報提供（テレフォンサービス）	32	
〔後 期 日 程〕		(6) 配点	40
1	募集人員	4	
2	入学者選抜方法等	6	
(1)	入学者選抜方法	6	
(2)	学内併願	6	
(3)	2段階選抜	6	
(4)	平成5年度入学者選抜の実施教科・科目等について	7	
(5)	実技検査	13	
(6)	配点	17	
(7)	試験期日及び試験時間割	19	
(8)	試験場	20	
(9)	健康診断	20	
3	出願期間	20	
4	出願手続	20	
(1)	出願方法	20	
(2)	出願に必要な書類等	22	
(3)	出願書類等の提出先	23	
(4)	入学志願票等記入要領	23	
5	身体に障害のある者の出願	29	
6	受験票等の送付	29	
7	合格者発表	29	
8	欠員補充の方法	30	
9	入学手続	30	
10	入学試験に関する問い合わせ	32	
11	情報提供（テレフォンサービス）	32	
		(7) 試験期日及び試験時間割	41
		(8) 試験場（面接会場等）	42
		(9) 健康診断	42
		3 出願期間	43
		4 出願手続	43
		(1) 出願方法	43
		(2) 出願に必要な書類等	44
		(3) 出願書類等の提出先	45
		(4) 入学志願票等記入要領	45
		5 身体に障害のある者の出願	49
		6 受験票等の送付	49
		7 合格者発表	49
		8 欠員補充の方法	50
		9 入学手続	50
		10 入学試験に関する問い合わせ	51
		11 情報提供（テレフォンサービス）	51
		〔学 生 生 活〕	
		1 入学時に必要な経費	54
		2 入学料免除について	54
		3 授業料免除について	55
		4 奨学制度について	58
		5 学生寮	58
		6 下宿・貸間等の紹介	60
		7 アルバイト	60
		8 保健管理センター	60
		9 学生健康保険組合	61
		10 学生教育研究災害傷害保険	61
		11 入学志願者、受験者、合格者、入学者（平成4年～平成2年度）	62
		12 卒業後の進路（平成3年度・平成2年度卒業生）	68
		受験者の宿泊	裏表紙
		募集要項請求方法	裏表紙

注 推薦入学、帰国子女及び私費外国人留学生の選抜については、「平成5年度金沢大学学生募集要項（別冊）特別選抜（推薦入学）、（帰国子女）、私費外国人留学生」に記載してある。

部 对 学 业 实 践

である。

である。

平成5年度入学者選抜試験の受験を要する  
平成5年度入学者選抜  
去等の(5)平成5年度

- 了見込みの者  
り、高等学校を卒業  
にこれに該当する見



- ④ 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部大臣の行う大学入学資格検定に合格した者及び平成5年3月31日までに合格見込みの者で、平成5年3月31日までに18歳に達するもの



# 1 募集人員

学部 (日程)	学 科 ・ 課 程	募 集 人 員				備 考
		計	A 日 程 前期日程	推薦入学	帰国子女	
文学部 (A日程)	行 動 科 学 科	50	(50)	—	全学科で 3名以内	( ) 書の数 は、 帰国子女を含む 定員である。
	史 学 科	60	(60)	—		
	文 学 科	60	(60)	—		
	計	170	167(170)	—		
教育学部 (A日程)	小 学 校 教 員 養 成 課 程	100	100	—	—	中学校教員養成 課程及び養護学校 教員養成課程(中 学部)の〔 〕内 は、専攻教科を示 す。
	中 学 校 教 員 養 成 課 程 (国語・社会・数学・理科・英語…各約 6名 音楽・美術・技術・家庭 ……各約 4名 保健・職業 ……各約 2名)	50	48	2	—	
	高等学校教員養成課程(保健体育)	20	16	4	—	
	聾 学 校 教 員 養 成 課 程	15	15	—	—	
	養護学校教員養成課程(小学部)	15	15	—	—	
	養護学校教員養成課程(中学部) 〔国語・社会・理科・音楽・職業〕	5	5	—	—	
	言語障害児教育教員養成課程	20	20	—	—	
	総 合 科 学 課 程 (文化科学コース……………10名 自然科学コース……………20名 人間科学コース……………10名)	40	40	—	—	
	ス ポ ー ツ 科 学 課 程	30	24	6	—	
	計	295	283	12	—	
法学部 (A日程)	法 学 科	215	212(215)	—	3名以内	( ) 書の数 は、 帰国子女を含む 定員である。
経済学部 (前期日程)	経 済 学 科	I 群	概ね86	10	—	合格者は、I 群 とII群とを合わせ て発表する。
		II 群	概ね86		—	

学部 (日程)	学 科 ・ 課 程	募 集 人 員				備 考
		計	A 日 程 前期日程	推薦入学	帰国子女	
理学部 (前期日程)	数 学 科	30	(30)	—	全学科で 5名以内	( ) 書の数 は、 帰国子女を含む 定員である。
	物 理 学 科	30	(30)	—		
	化 学 科	30	(30)	—		
	生 物 学 科	20	(20)	—		
	地 学 科	28	(28)	—		
	計	138	133(138)	—		
医学部 (前期日程)	医 学 科	90	88( 90)	—	2名以内	( ) 書の数 は、 帰国子女を含む 定員である。
薬学部 (前期日程)	薬 学 科	30	(30)	—	全学科で 2名以内	( ) 書の数 は、 帰国子女を含む 定員である。
	製 薬 化 学 科	30	(30)	—		
	計	60	58(60)	—		
工学部 (前期日程)	土 木 建 設 工 学 科	93	83	10	—	工業教員養成課 程の15名は、土木 建設工学科(3名)、 機械システム工学 科(4名)、物質化学 工学科(5名)、 電気・情報工学科 (3名)に含めて 募集する。
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	134	131	3	—	
	物 質 化 学 工 学 科	100	100	—	—	
	電 気 ・ 情 報 工 学 科	100	90	10	—	
	計	427	404	23	—	
合 計		1,577	(1,532) 1,517	45	15名以内	( ) 書の数 は、 帰国子女を含む 定員である。

- 注 (1) 経済学部のI群とII群については、7ページ以降の「(4)平成5年度入学者選抜の実施教科・科目等について」及び17ページ以降の「(6)配点」を参照すること。
- (2) 推薦入学及び帰国子女特別選抜の募集人員は、入学定員に含める。
- なお、経済学部、工学部の推薦入学の募集人員及び理学部、医学部、薬学部の帰国子女特別選抜の募集人員は、前期日程として取り扱う。
- (3) 工学部の推薦入学募集人員には、工業教員養成課程の学生を含まない。



## 2 入学者選抜方法等

A日程並びに前期日程の個別学力検査等は、次のとおり実施する。

### (1) 入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験並びに本学が行う個別学力検査等、調査書の審査及び健康診断の結果を総合して行う。

- ① 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等、個別学力検査等及び健康診断の詳細については、「(4)平成5年度入学者選抜の実施教科・科目等について」から「(9)健康診断」までの各項をそれぞれ参照すること。
- ② 大学入試センター試験及び個別学力検査等で、志望する学部・学科（課程）が課す教科・科目のすべてを受験しなければ、失格となるので注意すること。

### (2) 学内併願

本学では、日程の異なった学部間及び同一学部内学科間の併願を認める。  
ただし、「A日程」と「前期日程」、「同一日程間」の併願はできないので注意すること。

### (3) 第2志望

教育学部の一部の課程及び薬学部の志願者は、次のとおり他の学科・課程を第2志望とすることができる。

#### ○教育学部

高等学校教員養成課程（保健体育）及びスポーツ科学課程の志願者は、互いに他を第2志望とすることができる。（推薦入学については、第2志望を認めていないので注意すること。）

#### ○薬学部

薬学科及び製薬化学科の志願者は、互いに他の学科を第2志望とすることができる。

## (4) 平成5年度入学者選抜の実施教科・科目等について

入学志願者に解答させる教科・科目名等		選 抜 の 対 象	大学入試センター試験で入学志願者に解答させる教科・科目名	個別学力検査等の教科・科目等	大学入試センター試験の利用方法	そ の 他
学部（学科、課程、専攻等）名						
文 学 部	A 日 程	行 史 動 科 学 学 科 科	一般選抜の全部	国 社（倫、日、世、地理、現社から1） 数（「数Ⅰ」と「数Ⅱ、簿、工から1」） 理（物、化、生、地学、理Ⅰから1） 外（英、独、仏から1）	国（国Ⅰ、国Ⅱ） 外（英「英Ⅱ、英ⅡB、英ⅡC」、独から1）	17ページ「(6)配点」を参照すること
	前 期 日 程	文 学 科		国 社（倫、日、世、地理、現社から1） 数（数Ⅰ） 理（物、化、生、地学、理Ⅰから1） 外（英、独、仏から1）		
教 育 学 部	A 日 程	小 学 校 教 員 養 成 課 程 豊 学 校 教 員 養 成 課 程 養 護 学 校 教 員 養 成 課 程（小学部） 言 語 障 害 児 教 育 教 員 養 成 課 程	一般選抜の全部	国 社（倫、日、世、地理、現社から1） 数（「数Ⅰ」と「数Ⅱ、簿、工から1」） 理（物、化、生、地学、理Ⅰから1） 外（英、独、仏から1）	国（国Ⅰ、国Ⅱ） 数（数Ⅰ、代幾、基解） 実技（音Ⅰ、美Ⅰ、体から1）	◎ 大学入試センター試験の理科を1科目又は2科目選択受験しなければならない学部・学科（課程）等において、複数の科目を受験した受験者の成績は、高得点のものを本人の成績とする。
		中 学 校 教 員 養 成 課 程（国語）〔社会〕 養 護 学 校 教 員 養 成 課 程（中学部）〔国語〕〔社会〕			国（国Ⅰ、国Ⅱ） 外（英「英Ⅱ、英ⅡB、英ⅡC」、独から1）	◎ 各教科とも受験科目数が複数であっても同一試験時間内に解答させる。
		中 学 校 教 員 養 成 課 程〔数学〕			数（数Ⅰ、代幾、基解、微積、確統）	◎ 英Ⅱ、英ⅡB、英ⅡCの3科目を合わせて出題する。ドイツ語の出題範囲は、英語に準ずる。
		中 学 校 教 員 養 成 課 程〔理科〕 養 護 学 校 教 員 養 成 課 程（中学部）〔理科〕			数（数Ⅰ、代幾、基解、微積、確統） 理（物、化、生、地学から1）	
	前 期 日 程	中 学 校 教 員 養 成 課 程〔技術〕	推 薦 入 学 「募集人員50名中2名」	課さない	面接、小論文、小課題	



入学志願者に解答させる 教科・科目名等			選 抜 の 対 象	大学入試センター 試験で入学志願者 に解答させる教科 ・科目名	個別学力検査等 の教科・科目等	大学入 試セン ター試 験の利 用方法	そ の 他
学部（学科，課程，専攻等）名							
教 育 日 本 学 部	A	中学校教員養成課程〔家庭〕〔職業〕 養護学校教員養成課程(中学部)〔職業〕	一般選抜の全部	国 社（倫，日，世， 地理，現社から 1） 数（「数Ⅰ」と「数 Ⅱ，簿，工から 1」） 理（物，化，生， 地学，理Ⅰから 1） 外（英，独，仏か ら1）	理（物，化，生， 地学から1） 外（英「英Ⅱ， 英ⅡB，英Ⅱ C」，独から 1）	17ペー ジ 「(6)配 点」を 参照す ること	◎ 大学入試 センター試 験の理科を 1科目又は 2科目選択 受験しなけ ればならな い学部・学 科（課程）等 において， 複数の科目 を受験した 受験者の成 績は，高得 点のものを 本人の成績 とする。
		中学校教員養成課程（保健）			理（生） 外（英「英Ⅱ， 英ⅡB，英Ⅱ C」，独から 1）		
		中学校教員養成課程〔英語〕			国（国Ⅰ，国Ⅱ） 外（英「英Ⅱ， 英ⅡB，英Ⅱ C」）		
		中学校教員養成課程〔音楽〕 養護学校教員養成課程(中学部)〔音楽〕			実技（音「音Ⅰ， 音Ⅱ」）		
		中学校教員養成課程〔美術〕			実技（美「美Ⅰ， 美Ⅱ」）		
		高等学校教員養成課程（保健体育）			実技（体）		
	総合 科学 課程	文化科学コース	一般選抜の全部	面接，小論文	国（国Ⅰ，国Ⅱ） 外（英「英Ⅱ， 英ⅡB，英Ⅱ C」，独から 1）	◎ 各教科と も受験科目 数が複数で あっても同 一試験時間 内に解答さ せる。	
		自然科学コース			数（数Ⅰ，代幾， 基解） 理（物，化，生， 地学から1） 外（英「英Ⅱ， 英ⅡB，英Ⅱ C」，独から 1） の3教科から2 教科を選択		◎ 英Ⅱ，英 ⅡB，英Ⅱ Cの3科目 を合わせて 出題する。 ドイツ語 の出題範囲 は，英語に 準ずる。
		人間科学コース			国（国Ⅰ，国Ⅱ） 数（数Ⅰ，代幾， 基解） 外（英「英Ⅱ， 英ⅡB，英Ⅱ C」，独から 1） の3教科から2 教科を選択		
		スポーツ科学課程			実技（体）  面接，小論文		

入学志願者に解答させる 教科・科目名等		選 抜 の 対 象	大学入試センター 試験で入学志願者 に解答させる教科 ・科目名	個別学力検査等 の教科・科目等	大学入 試セン ター試 験の利 用方法	そ の 他
学部（学科，課程，専攻等）名						
法 学 部	A 日 法 学 科	一般選抜の全部	国 社（倫，日，世， 地理，現社から 1） 数（「数Ⅰ」と「数 Ⅱ，簿，工から 1」） 理（物，化，生， 地学，理Ⅰから 1） 外（英，独，仏か ら1）	国（国Ⅰ，国Ⅱ） 外（英「英Ⅱ， 英ⅡB，英Ⅱ C」，独から 1）		
	経 済 学 部	経 済 学 科	一般選抜の全部	I 群 社（日，世， 政経，地 理 从 ら 1） 〔解答は論 述式を中心 とする。〕 II 群 国（国Ⅰ， 国Ⅱ）， 数（数Ⅰ， 代幾，基 解）及び 外（英「英 Ⅱ，英Ⅱ B，英Ⅱ C」，独 から1） の3教科か ら2教科を 選択	17ペー ジ「(6)配 点」を参 照すること	◎ 大学入試 センター試 験の理科を 1科目又は 2科目選択 受験しなけ ればならな い学部・学 科(課程)等 において， 複数の科目 を受験した 受験者の成 績は，高得 点のものを 本人の成績 とする。 ◎ 各教科と も受験科目 数が複数で あっても同 一試験時間 内に解答さ せる。
		推 薦 入 学 「募集人員182 名中10名」	課さない	面接，小論文		
理 学 部	数 学 科	一般選抜の全部	国 社（倫，日，世， 地理，現社から 1） 数（「数Ⅰ」と「数 Ⅱ，簿，工から 1」） 理（物，化，生， 地学，理Ⅰから 1） 外（英，独，仏か ら1）	数（数Ⅰ，代幾， 基解，微積， 確統） 理（物，化，生， 地学から1）		◎ 英Ⅱ，英 ⅡB，英Ⅱ Cの3科目 を合わせて 出題する。 ドイツ語 の出題範囲 は，英語に 準ずる。
	物 理 学 科	一般選抜の全部	国 社（倫，日，世， 地理，現社から 1） 数（「数Ⅰ」と「数 Ⅱ，簿，工から 1」） 理（物，化，生， 地学，理Ⅰから 1） 外（英，独，仏か ら1）	数（数Ⅰ，代幾， 基解，微積， 確統） 理（物）		



入学志願者に解答させる 教科・科目名等		選 抜 の 対 象	大学入試センター 試験で入学志願者 に解答させる教科 ・科目名	個別学力検査等 の教科・科目等	大学入 試セン ター試 験の利 用方法	そ の 他
学部（学科，課程，専攻等）名						
理 学 部 程	化 学 科	一般選抜の全部	国 社（倫，日，世， 地理，現社から 1） 数（「数Ⅰ」と「数 Ⅱ，簿，工から 1」） 理（物，化） 外（英，独，仏か ら1）	数（数Ⅰ，代幾， 基解，微積， 確統） 理（化）		
	生 物 学 科	一般選抜の全部	国 社（倫，日，世， 地理，現社から 1） 数（「数Ⅰ」と「数 Ⅱ，簿，工から 1」） 理（物，化，生， 地学，理Ⅰから 1） 外（英，独，仏か ら1）	数（数Ⅰ，代幾， 基解，微積， 確統） 理（物，化，生， 地学から1） ただし，大学 入試センター試 験で生物を受験 しなかった者は 必ず生物を受験 すること。	17ペー ジ「(6)配 点」を 参照す ること	◎ 大学入試 センター試 験の理科を 1科目又は 2科目選択 受験しなけ ればならな い学部・学 科（課程）等 において， 複数の科目 を受験した 受験者の成 績は，高得 点のものを 本人の成績 とする。
	地 学 科	一般選抜の全部	国 社（倫，日，世， 地理，現社から 1） 数（「数Ⅰ」と「数 Ⅱ，簿，工から 1」） 理（物，化，生， 地学，理Ⅰから 1） 外（英，独，仏か ら1）	数（数Ⅰ，代幾， 基解，微積， 確統） 理（物，化，生， 地学から1）		◎ 各教科と も受験科目 数が複数で あっても同 一試験時間 内に解答さ せる。
医 学 部 程	医 学 科	一般選抜の全部	国 社（倫，日，世， 地理，現社から 1） 数（「数Ⅰ」と「数 Ⅱ，簿，工から 1」） 理（物，化，生， 地学，理Ⅰから 1） 外（英，独，仏か ら1）	数（数Ⅰ，代幾， 基解，微積， 確統） 理（物，化） 外（英「英Ⅱ， 英ⅡB，英Ⅱ C」，独から 1）		◎ 英Ⅱ，英 ⅡB，英Ⅱ Cの3科目 を合わせて 出題する。 ドイツ語 の出題範囲 は，英語に 準ずる。
薬 学 部 程	薬 学 科 製 薬 学 科 化 学 科	一般選抜の全部	国 社（倫，日，世， 地理，現社から 1） 数（「数Ⅰ」と「数 Ⅱ，簿，工から 1」） 理（物，化，生， 地学，理Ⅰから 1） 外（英，独，仏か ら1）	理（物，化） 外（英「英Ⅱ， 英ⅡB，英Ⅱ C」）		

入学志願者に解答させる 教科・科目名等		選 抜 の 対 象	大学入試センター 試験で入学志願者 に解答させる教科 ・科目名	個別学力検査等 の教科・科目等	大学入 試セン ター試 験の利 用方法	そ の 他
学部（学科，課程，専攻等）名						
工 学 部 程	土 木 建 設 工 学 科	一般選抜の全部	国 社（倫，日，世， 地理，現社から 1） 数（「数Ⅰ」と「数 Ⅱ，簿，工から 1」） 理（物，化，生， 地学，理Ⅰから 1） 外（英，独，仏か ら1）	数（数Ⅰ，代幾， 基解，微積， 確統） 理（物，化から 1） 外（英「英Ⅱ， 英ⅡB，英Ⅱ C」，独から 1）		
	推 薦 入 学 「募集人員93名 中10名」	課さない		面接，小論文	17ペー ジ「(6)配 点」を 参照す ること	◎ 大学入試 センター試 験の理科を 1科目又は 2科目選択 受験しなけ ればならな い学部・学 科（課程）等 において， 複数の科目 を受験した 受験者の成 績は，高得 点のものを 本人の成績 とする。
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	一般選抜の全部	国 社（倫，日，世， 地理，現社から 1） 数（「数Ⅰ」と「数 Ⅱ，簿，工から 1」） 理（物，化，生， 地学，理Ⅰから 1） 外（英，独，仏か ら1）	数（数Ⅰ，代幾， 基解，微積， 確統） 理（物） 外（英「英Ⅱ， 英ⅡB，英Ⅱ C」，独から 1）		◎ 各教科と も受験科目 数が複数で あっても同 一試験時間 内に解答さ せる。
学 部 程	日 物 質 化 学 工 学 科	一般選抜の全部	国 社（倫，日，世， 地理，現社から 1） 数（「数Ⅰ」と「数 Ⅱ，簿，工から 1」） 理（物，化，生， 地学，理Ⅰから 1） 外（英，独，仏か ら1）	数（数Ⅰ，代幾， 基解，微積， 確統） 理（物，化から 1） 外（英「英Ⅱ， 英ⅡB，英Ⅱ C」，独から 1）		◎ 英Ⅱ，英 ⅡB，英Ⅱ Cの3科目 を合わせて 出題する。 ドイツ語 の出題範囲 は，英語に 準ずる。
	電 気 ・ 情 報 工 学 科	一般選抜の全部	国 社（倫，日，世， 地理，現社から 1） 数（「数Ⅰ」と「数 Ⅱ，簿，工から 1」） 理（物，化，生， 地学，理Ⅰから 1） 外（英，独，仏か ら1）	数（数Ⅰ，代幾， 基解，微積， 確統） 理（物） 外（英「英Ⅱ， 英ⅡB，英Ⅱ C」，独から 1）	推 薦 入 学 「募集人員 100 名中10名」	課さない  面接，小論文



(注) 大学入試センター試験科目については、出願に際し特に次の事項に注意すること。

1. 志願する学部・学科(課程)が課す教科・科目が、実際受験した教科・科目と一致すること。
2. 社、理のうち「現社」及び「理Ⅰ」を選択解答することができる者は、高等学校の普通科、理数科の卒業(見込み)者以外の者に限る。
3. 数、理のうち「簿」「工」を選択解答することができる者は、高等学校において、「簿記会計Ⅰ」「簿記会計Ⅱ」又は「工業数理」を履修した者及び文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限る。

備考 個別学力検査等の教科・科目等は、表中次のとおり略記した。

国語・・・国Ⅰ(国語Ⅰ)、国Ⅱ(国語Ⅱ)

社会・・・日(日本史)、世(世界史)、政経(政治・経済)

数学・・・数Ⅰ(数学Ⅰ)、代幾(代数・幾何)、基解(基礎解析)、微積(微分・積分)、確統(確率・統計)

理科・・・物(物理)、化(化学)、生(生物)

外国語・・・英(英語) — 英Ⅱ(英語Ⅱ)、英ⅡB(英語ⅡB)、英ⅡC(英語ⅡC)

独(ドイツ語)

実技・・・体(体育実技)、音Ⅰ(音楽Ⅰ)、音Ⅱ(音楽Ⅱ)、美Ⅰ(美術Ⅰ)、美Ⅱ(美術Ⅱ)

## (5) 実技検査

教育学部の一部の課程で実施する実技検査の範囲と方法は、次のとおりである。

- ① 小学校教員養成課程、聾学校教員養成課程、養護学校教員養成課程(小学部)及び言語障害児教育教員養成課程の志願者は、次の「ア音楽実技・イ美術実技・ウ体育実技」のうちから、一つを選んで受験しなければならない。

### ア 音楽実技

弾き歌い

次の課題曲を、ピアノで伴奏しながら歌う。

春への憧れ W. A. Mozart K. V. 596 宮澤 章二 作詞

速度 ♩ = 46 ~ 69

- (注) 1 教育学部で指定した楽譜(教務係で交付)を使用すること。ただし、声域に合わない場合は、移調してもよい。

なお、指定楽譜の郵送を希望する者は、「春への憧れ」と明記し、返信用封筒(定形封筒で62円切手をはり付け、あて先を明記したもの)を同封の上、下記あてに申し込むこと。

〒920-11 金沢市角間町

金沢大学教育学部教務係

2 演奏は、暗譜でもよいし、楽譜を使用してもよい。

3 後奏の装飾音符については、省略してもよい。

### イ 美術実技

鉛筆写生画

用具として、鉛筆、消しゴムを持参すること。

### ウ 体育実技

次の基礎的運動能力検査を実施する。

- 走運動
- 跳運動
- 投運動
- ボール運動

(注) 検査に適した服装及び運動靴を準備すること。

- ② 中学校教員養成課程音楽専攻及び養護学校教員養成課程（中学部）音楽専攻の志願者は、次表のうち、ア、イ、ウ、エのいずれか一つの系列を選び、その○印を付してある種目を受験しなければならない。

種 目		系 列			
		ア	イ	ウ	エ
声 楽	(a) コールユーブンゲン	○	○	○	○
	(b) 歌 曲 A	○			
	(c) 歌 曲 B		○	○	○
	(d) 歌 曲 C	○			
器 楽	(a) ピ ア ノ I	○		○	○
	(b) ピ ア ノ II		○		
	(c) ピ ア ノ III		○		
	(d) 管 楽 器			○	
楽	(e) 弦 楽 器				○

#### ア 声 楽

(a) コールユーブンゲン 第1巻 原書番号No.4 8～No.8 5のうちから当日指定する。

(b) 歌 曲 A 次の6曲のうちから任意の1曲

イタリー歌曲

- Lasciatemi morire  
○ Se tu della mia morte

C. Monteverdi  
A. Scarlatti

日本歌曲

- 北 秋 の  
○ かやの木山

信 時 潔  
山 田 耕 筈

ドイツ歌曲

- An Chloë  
○ Sonntag

W. A. Mozart  
J. Brahms

(c) 歌 曲 B 次の6曲のうちから任意の1曲

イタリー歌曲

- Caro mio ben  
○ Nel cor piú non mi sento

G. Giordani  
G. Paisiello

日本歌曲

- 平 城 山  
○ こ の 道

平 井 康三郎  
山 田 耕 筈

ドイツ歌曲

- Ich liebe dich  
○ An die Musik

L. v. Beethoven  
F. Schubert

(d) 歌 曲 C

自由選択歌曲（日本歌曲も含む）を1曲

ただし、歌曲A、Bの12曲以外の曲で、約3分以内に歌い終わるもの。

(注) 1 コールユーブンゲンは固定ド唱法、移動ド唱法のどちらでもよい。また、移調してもよい。

2 歌曲A、B、Cの歌詞は、原語とする。

3 歌曲A、B、Cにおいては、調は自由とする。

各自使用の調の伴奏楽譜のコピーを、出願書類と同時に提出すること。

#### イ 器 楽

(a) ピ ア ノ I

J. S. Bach インヴェンションより 第2番 BWV 773 ハ短調

(b) ピ ア ノ II

次の(1)、(2)の中から、いずれか一つを選ぶこと。

(1) J. S. Bach：シンフォニア及び平均律ピアノ曲集第I巻、第II巻（フーガのみ）より任意の一曲

(2) F. Chopin：練習曲 作品10及び作品25より任意の一曲

(c) ピ ア ノ III

W. A. Mozart又はL. v. Beethovenのソナタから任意の1曲の第1楽章又は終楽章。ただし、楽章全体が緩徐なものを除く。

(d) 管 楽 器

次の楽器のうち一つを選び、独奏曲又は練習曲から任意の1曲

1. フルート 2. オーボエ 3. クラリネット 4. ファゴット  
5. トランペット 6. ホルン 7. トロンボーン 8. サキソフォン  
9. チューバ

(e) 弦 楽 器

次の楽器のうち一つを選び、独奏曲又は練習曲から任意の1曲

1. ヴァイオリン 2. ヴィオラ 3. チェロ 4. コントラバス

(注) 1 演奏は、ピアノ・管楽器・弦楽器とも繰り返しを行わないこと。

2 管楽器・弦楽器とも伴奏をつけない。

3 管楽器・弦楽器の受験者は、演奏する曲が多楽章の場合は、そのうちから任意の楽章一つを選んで弾く。ただし、楽章全体が緩徐なものを除く。

4 管楽器・弦楽器の受験者は、演奏する楽譜のコピーを出願書類と同時に提出すること。

5 管楽器・弦楽器の受験者は、原則として楽器を各自持参すること。ただし、コントラバスは持参しなくてもよい。

◎ 歌曲C、ピアノII、ピアノIIIは、暗譜とする。それ以外は暗譜でもよいし、楽譜を使用してもよい。声乐・器楽とも楽譜を必要とするものは、各自持参すること。

③ 中学校教員養成課程美術専攻の志願者は、次の美術実技ア（午前）、美術実技イ（午後）を共に受験しなければならない。

ア 石膏像鉛筆デッサン

イ 色彩構成



用具として、鉛筆、消しゴム、ポスターカラー、パレット又は絵具皿、図案筆を持参すること。

- ④ 高等学校教員養成課程（保健体育）及びスポーツ科学課程の志願者は、次の体育実技（ア、イ）を受験しなければならない。

ア 基礎的運動能力検査（持久走を含む。）

イ 運動技能検査

次の種目のうちから、一つを選んで受験すること。男女とも種目の選択は自由とする。

種 目 名
器械運動・陸上競技・柔 道・剣 道・ダンス・水泳（競泳）・バスケットボール・バレーボール・ハンドボール・サッカー・ラグビー・野 球・ソフトボール・テニス・ソフトテニス・卓 球・バドミントン

（注）それぞれの検査に適した各自の用具、服装及び運動靴を準備すること。

ただし、剣道防具については大学で準備するが、各自のものを使用してもよい。

## (6) 配 点

大学入試センター試験（大試と略す）及び個別学力検査等（個別と略す）の配点は、次のとおりである。

学 部 ・ 学 科（課 程）		配点 区分	教 科 等								合計
			国語	社会	数学	理科	外国語	実技	小論文	面接	
文学部 (A日程)	行 動 科 学 科	大試	200	200	200	200	200	—	—	—	1,000
		個別	200	—	—	—	200	—	—	—	400
	史 学 科	大試	200	300	200	100	200	—	—	—	1,000
		個別	300	—	—	—	300	—	—	—	600
	文 学 科	大試	200	100	100	100	200	—	—	—	700
		個別	200	—	—	—	200	—	—	—	400
教 育 学 部 (A日程)	小 学 校 教 員 養 成 課 程 聾 学 校 教 員 養 成 課 程 養 護 学 校 教 員 養 成 課 程 (小学部) 言語障害児教育教員養成課程	大試	200	100	200	100	200	—	—	—	800
		個別	200	—	200	—	—	200	—	—	600
	中学校教員養成課程〔国語〕 養護学校教員養成課程 (中学部)〔国語〕	大試	200	200	100	100	200	—	—	—	800
		個別	400	—	—	—	200	—	—	—	600
	中学校教員養成課程〔社会〕 養護学校教員養成課程 (中学部)〔社会〕	大試	160	160	160	160	160	—	—	—	800
		個別	200	—	—	—	200	—	—	—	400
	中学校教員養成課程〔数学〕	大試	200	100	200	100	200	—	—	—	800
		個別	—	—	400	—	—	—	—	—	400
	中学校教員養成課程〔理科、技術〕 養護学校教員養成課程 (中学部)〔理科〕	大試	160	160	160	160	160	—	—	—	800
		個別	—	—	300	300	—	—	—	—	600
	中学校教員養成課程〔家庭、職業〕 養護学校教員養成課程 (中学部)〔職業〕	大試	160	160	160	160	160	—	—	—	800
		個別	—	—	—	200	200	—	—	—	400
	中学校教員養成課程〔保健〕	大試	160	160	160	160	160	—	—	—	800
		個別	—	—	—	200	200	—	—	—	400
	中学校教員養成課程〔英語〕	大試	200	100	100	100	300	—	—	—	800
		個別	200	—	—	—	300	—	—	—	500
	中学校教員養成課程〔音楽、美術〕 養護学校教員養成課程 (中学部)〔音楽〕	大試	200	200	100	100	200	—	—	—	800
		個別	—	—	—	—	—	400	—	—	400
	高等学校教員養成課程 (保健体育) ス ポ ー ツ 科 学 課 程	大試	160	160	160	160	160	—	—	—	800
		個別	—	—	—	—	—	400	—	—	400

学部・学科(課程)		配点 区分	教 科 等								合計
			国語	社会	数学	理科	外国語	実技	小論文	面接	
教育学部 (A日程)	総合科学課程 (文化科学コース)	大試	160	160	160	160	160	—	—	—	800
		個別	300	—	—	—	300	—	—	—	600
	総合科学課程 (自然科学コース)	大試	160	160	160	160	160	—	—	—	800
		個別	—	—	*300	*300	*300	—	—	—	600
	総合科学課程 (人間科学コース)	大試	160	160	160	160	160	—	—	—	800
		個別	*300	—	*300	—	*300	—	—	—	600
法学部 (A日程)		大試	160	160	160	80	160	—	—	—	720
		個別	300	—	—	—	300	—	—	—	600
経済学部 (前期日程)	I 群	大試	200	100	200	100	200	—	—	—	800
		個別	—	400	—	—	—	—	—	—	400
	II 群	大試	200	100	200	100	200	—	—	—	800
		個別	*200	—	*200	—	*200	—	—	—	400
理学部 (前期日程)	数学科	大試	200	100	200	100	200	—	—	—	800
		個別	—	—	400	200	—	—	—	—	600
	物理学科	大試	120	120	120	120	120	—	—	—	600
		個別	—	—	300	300	—	—	—	—	600
	化学科	大試	50	50	100	100	100	—	—	—	400
		個別	—	—	200	200	—	—	—	—	400
	生物学科	大試	100	100	200	200	200	—	—	—	800
		個別	—	—	300	300	—	—	—	—	600
	地学科	大試	100	100	100	100	200	—	—	—	600
		個別	—	—	200	200	—	—	—	—	400
医学部 (前期日程)		大試	100	50	100	50	100	—	—	—	400
		個別	—	—	200	200	200	—	—	—	600
薬学部 (前期日程)		大試	200	100	200	100	200	—	—	—	800
		個別	—	—	—	400	200	—	—	—	600
工学部 (前期日程)		大試	100	50	100	50	100	—	—	—	400
		個別	—	—	200	150	150	—	—	—	500

- (注) 1 教育学部・総合科学課程(自然科学コース)の\*印は、数学(300点)、理科(300点)及び外国語(300点)の3教科から2教科選択であることを示す。
- 2 教育学部・総合科学課程(人間科学コース)の\*印は、国語(300点)、数学(300点)及び外国語(300点)の3教科から2教科選択であることを示す。
- 3 経済学部の前期日程II群の\*印は、国語(200点)、数学(200点)及び外国語(200点)の3教科から2教科選択であることを示す。

(7) 試験期日及び試験時間割

月日(曜)		2 月 25 日 (木)			2 月 26 日 (金)
学部・学科(課程)					
文 学 部		外国語 9:20～ 10:40	国 語 11:30～ 12:50		
教 育 学 部	小学校教員養成課程 中学校教員養成課程 養護学校教員養成課程(小学部) 言語障害児教育教員養成課程		国 語 11:30～ 12:50	数 学 14:40～ 16:10	実 技 音楽 9:30～ 美術 9:30～ 11:30 体育 9:30～
	中学校教員養成課程	外国語 9:20～ 10:40 〔国語・社会・家庭・保健・職業・英語〕	国 語 11:30～ 12:50 〔国語・社会・英語〕		(注) 教育学部の〔 〕 内は専攻教科を示す。
			理 科 11:30～ 12:30 〔理科・技術・家庭・保健・職業〕	数 学 14:40～ 16:40 〔数学・理科〕 〔技術〕	
	実 技	音 楽〔音楽〕 9:30～ 美 術〔美術〕 { 9:20～12:20 13:20～16:20 }			
	養護学校教員養成課程(中学部)	外国語 9:20～ 10:40 〔国語・社会・職業〕	国 語 11:30～ 12:50～ 〔国語・社会〕		数 学 14:40～ 16:40 〔理科〕
			理 科 11:30～ 12:30 〔理科・職業〕		
実 技	音 楽〔音楽〕 9:30～				
高 等 学 校 教 員 養 成 課 程 ( 保 健 体 育 ) ス ポー ツ 科 学 課 程	総合科学課程	文化科学コース	外国語 9:20～ 10:40	国 語 11:30～ 12:50	
		自然科学コース	外国語(選択) 9:20～ 10:40	理 科 11:30～ 12:30 (選択)	数 学 14:40～ 16:10 (選択)
		人間科学コース	外国語(選択) 9:20～ 10:40	国 語 11:30～ 12:50 (選択)	数 学 14:40～ 16:10 (選択)
		法 学 部		外国語 9:20～ 10:40	国 語 11:30～ 12:50
経 済 学 部	経 済 学 科	I 群			社 会 14:40～ 16:10
		II 群	外国語(選択) 9:20～ 10:40	国 語 11:30～ 12:50 (選択)	数 学 14:40～ 16:10 (選択)
理 学 部			理 科 11:30～ 13:10	数 学 14:40～ 16:40	
医 学 部		外国語 9:20～ 10:40	理 科 11:30～ 13:30	数 学 14:40～ 16:40	
薬 学 部		外国語 9:20～ 10:40	理 科 11:30～ 13:30		
工 学 部		外国語 9:20～ 10:40	理 科 11:30～ 13:10	数 学 14:40～ 16:40	



## (8) 試験場

各学部校舎（金沢市内）が試験場となる予定である。

なお、志願者数によっては、試験場の変更（本学教養部及び金沢市内の公立高等学校等）もあり得るので、2月8日（月）受験票送付の際に同封する「確定試験場及び試験場案内」により確認すること。

## (9) 健康診断

①イ. 調査書の「健康の状況」又は健康診断書によって審査し、必要と認める者については、精密検査を2月25日（木）午後本学で実施する。

ロ. 精密検査の該当者には、実施に関する事項を2月25日の学力検査及び実技検査終了時までには通知する。

ハ. 精密検査の該当者が受検しない場合は、失格とする。

② 調査書又は健康診断書に記載された事項が、入学後本学で実施する健康診断の結果と著しく相違し、修学に必要な条件を満たしていないことが判明した場合には、入学後であっても入学許可を取り消すことがある。

③ 学部・学科（課程）によっては、視力障害、聴力障害、言語障害及び運動機能障害（肢体不自由）等のある者は、修学上支障を来すことがある。該当する者は、出願に先立ち上記事項に留意するとともに、不明の点があれば、あらかじめ学生部入試課入学試験係へ問い合わせること。

## 3 出願期間

平成5年1月25日（月）～平成5年2月2日（火）

受付は、土曜日及び日曜日を除き、午前9時から午後5時までとする。

持参する場合も、郵送する場合も、平成5年2月2日（火）午後5時までに必着すること。ただし、締切日（2月2日）を過ぎて郵送で提出された願書のうち、平成5年1月31日（日）までの発信局日付印のある書留速達便にかぎり受理する。

### ◎出願状況の情報提供について

各学部・学科（課程）ごとの出願状況（志願者数及び倍率）について、次の期間中テレフオンサービスで情報提供を行う。

平成5年1月25日（月）午後7時頃 ～ 2月8日（月）

電話番号 0762(21)7700（通話料金は有料）

## 4 出願手続

### (1) 出願方法

志願者は、(2)の「出願に必要な書類等」22ページ参照（A日程・前期日程用）を一括して、本学所定の封筒に入れ、出願期間内に志願する学部へ提出すること。

なお、出身高等学校等で取りまとめて提出する場合も、志願者ごとに本学所定の封筒に入れて提出すること。

### 〔出願に当たっての注意事項〕

① A・前期日程の出願用紙・封筒を使用すること。

② 大学入試センター試験の受験票及び成績請求票の再発行を受けた場合は、再発行された受験票及び成績請求票のみが有効である。この場合は、再発行された成績請求票により出願しなければ、失格とする。

③ 他の国公立大学（私立産業医科大学を含む）・学部の推薦入学合格者は、本学を受験しても入学許可は得られない（当該大学・学部の定める入学辞退手続により入学辞退し、その許可を得た者を除く）。

④ 出願書類に不備がある場合は、受理しないことがある。

⑤ 出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更及び検定料の払い戻しはしない。

⑥ 出願書類に不正な事実があった場合は、入学許可を取り消すことがある。

(2) 出願に必要な書類等

①入学志願票 志願コード票 受験票 写真票	本要項に添付の用紙により作成すること 「 <b>図 匱</b> 平成5 センター試験成績請求票A日程・前期日程用」 及び写真2枚をそれぞれ所定の欄にはり付けること (「(4)入学志願票等記入要領」を参照すること)
②検 定 料	14,000円 …… 郵便為替 (普通為替) 郵送による場合も、普通為替を出願書類に同封して提出すること なお、この普通為替の受取人指定欄、領収者欄等には、何も記入してはいけない
③検定料納付及び 領収証書用紙	本要項に添付の用紙により作成すること 添付のはがき部分に、郵便番号・住所・氏名を記入すること (切手を貼付する必要はない)
④調 査 書	文部省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの
⑤健康診断書	平成3年3月以前の高等学校卒業生及び大学入学資格検定合格者等は、 本要項に添付の用紙により視力、聴力、結核並びにその他の疾病及び異常について医師が証明し、厳封したもの (平成4年3月高等学校卒業生及び平成5年3月卒業見込みの者は、提出する必要はない)
⑥返 送 用 封 筒	受験票等送付用で、本要項に添付の封筒に、住所、氏名、郵便番号を明記し、定形速達料金の切手(272円)をはり付けたもの
⑦合格者名簿送付 申 込 書	合格発表(本学の合格発表は学内掲示のみとする) 受験者の便宜を考慮し、希望者に対して合格者名簿(学部別)を合格者発表と同時に電子郵便により送付する 希望する者は、本要項に添付の用紙に志願者のあて先、氏名等を明記し、510円分の郵便切手をはり申し込むこと (詳しくは29ページを参照すること)

教育学部の志願者については、上記のほか次の書類も提出すること。

⑧教育学部写真票	小学校教員養成課程、聾学校教員養成課程、養護学校教員養成課程(小学部)及び言語障害児教育教員養成課程の志願者 本要項に添付の用紙による。写真は、所定の欄にはり付けること(写真は①の受験票・写真票と合わせて3枚)
⑨選択系列・曲目 届	中学校教員養成課程〔音楽専攻〕及び養護学校教員養成課程(中学部)〔音楽専攻〕の志願者 本要項に添付の用紙による
⑩選 択 種 目 届	高等学校教員養成課程(保健体育)及びスポーツ科学課程の志願者 本要項に添付の用紙による

- (注) 1 大学入学資格検定試験の合格者は、合格証明書及び合格成績証明書をもって調査書に代える。  
2 調査書の提出困難な学校(廃校、被災等)の出身者は、その旨を証明した書類をもって調査書に代える。  
3 文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了者は、成績証明書をもって調査書に代える。  
4 外国人は、上記書類のほか、外国人登録済証明書(在留資格が明示されたもの)を添付すること。  
5 文部大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の修了者は、修了証明書及び成績証明書をもって調査書に代える。

(3) 出願書類等の提出先

志願学部	提 出 先
文 学 部	文学部・学生係 〒920-11 金沢市角間町
教育学部	教育学部・教務係 〒920-11 金沢市角間町
法 学 部	法学部・学生係 〒920-11 金沢市角間町
経済学部	経済学部・学生係 〒920-11 金沢市角間町
理 学 部	理学部・学生係 〒920-11 金沢市角間町
医 学 部	医学部・教務係 〒920 金沢市宝町13番1号
薬 学 部	薬学部・学生係 〒920 金沢市宝町13番1号
工 学 部	工学部・学生係 〒920 金沢市小立野2丁目40番20号

(4) 入学志願票等記入要領

入学志願票・志願コード票・受験票・写真票の「※」印欄を除き、以下の指示に従って該当事項を正確に記入すること。

① 入学志願票

(注意すべき項目)

志望学部・学科(課程)	○ 教育学部中学校教員養成課程、養護学校教員養成課程(中学部)及び総合科学課程を志願するものは、専攻教科・コース欄に志望の専攻教科・コース名を記入すること ○ 経済学部を志願する者は、出題教科・科目により分けられたI群・II群のうち該当するものを○で囲むこと
第 2 志 望	○ 教育学部の高等学校教員養成課程(保健体育)及びスポーツ科学課程の志願者で、スポーツ科学課程及び高等学校教員養成課程(保健体育)をそれぞれ第2志望とする場合は、その課程名を記入すること ○ 薬学部志願者で、薬学部の他の学科を第2志望とする場合は、当該第2志望の学科名を記入すること
工 業 教 員 養 成 課 程	○ 工学部志願者で、工業教員養成課程を志望する場合は、「有」の文字を○で囲むこと
出 願 資 格	○ 18歳以前に大学入学資格検定試験に合格した者は、18歳に達した元号の年月、また、18歳以降に合格した者は、合格した元号の年月を記入すること
選 択 受 験 科 目	○ 選択して受験する科目を課している学部・学科(課程・専攻)の志願者は、選択する科目のコード(数字)を○で囲むこと なお、次表「学部・学科(課程)別選択受験科目一覧」以外の学部・学科(課程)については、必修科目なので、記入しないこと



学部・学科（課程）別選択受験科目一覧

学部・学科（課程）		科目及び科目コード
文 学 部		外国語（英語 10, ドイツ語 11）から1科目
教 育 学 部	小学校教員養成課程 聾学校教員養成課程 養護学校教員養成課程（小学部） 言語障害児教育教員養成課程	実 技（音楽 12, 美術 13, 体育14）から1科目
	中学校教員養成課程〔国語・社会〕 養護学校教員養成課程（中学部） 〔国語・社会〕	外国語（英語 10, ドイツ語 11）から1科目
	中学校教員養成課程 〔理科・技術〕 養護学校教員養成課程（中学部）〔理科〕	理 科（物理 06, 化学 07, 生物 08, 地学09）から1科目
	中学校教員養成課程〔家庭・職業〕 養護学校教員養成課程（中学部） 〔職業〕	理 科（物理 06, 化学 07, 生物 08, 地学09）から1科目 外国語（英語 10, ドイツ語 11）から1科目
	中学校教員養成課程〔保健〕	外国語（英語 10, ドイツ語 11）から1科目
総 合 学 部	文化科学コース	外国語（英語 10, ドイツ語 11）から1科目
	自然科学コース	〔 数学05 理 科（物理 06, 化学 07, 生物 08, 地学09）から1科目 外国語（英語 10, ドイツ語 11）から1科目 から2教科を選択する
	人間科学コース	〔 国語15 数学05 外国語（英語 10, ドイツ語 11）から1科目 から2教科を選択する
法 学 部		外国語（英語 10, ドイツ語 11）から1科目
経 済 学 部	経 済 学 科	I 群 社 会（日本史01, 世界史02, 政治・経済03, 地理04）から1科目
		II 群 〔 国語15 数学05 外国語（英語 10, ドイツ語 11）から1科目 から2教科を選択する
理 学 部	数学科, 生物学科, 地学科	理 科（物理 06, 化学 07, 生物 08, 地学09）から1科目
医 学 部		外国語（英語 10, ドイツ語 11）から1科目
工 学 部	土木建設工学科 物質化学工学科	理 科（物理 06, 化学 07）から1科目 外国語（英語 10, ドイツ語 11）から1科目
	機械システム工学科 電気・情報工学科	外国語（英語 10, ドイツ語 11）から1科目

（注）必ず受験しなければならない科目については、記入する必要がある。

② 志願コード票

次の表の説明に従ってコード等を記入すること。（後期日程の志願コード票については46ページを参照すること。）

区 分		説 明	コード等記入例	
②学部・学科（課程）等		次の学部・学科（課程）等コード表により記入すること 〔学部・学科（課程）等コード表〕		
学 部 ・ 学 科（課 程）		コード	学 部 ・ 学 科（課 程）	コード
文 学 部	行 動 科 学 科	111	法 学 部	法 学 科 151
	史 学 科	121	経 済 学 部	経 済 学 科〔I群〕 174
	文 学 科	131		経 済 学 科〔II群〕 175
教 育 学 部	小 学 校 教 員 養 成 課 程	701	理 学 部	数 学 科 314
	中 学 校 教 員 養 成 課 程〔国語〕	711		物 理 学 科 324
	中 学 校 教 員 養 成 課 程〔社会〕	721	学 部	化 学 科 334
	中 学 校 教 員 養 成 課 程〔数学〕	731		生 物 学 科 344
	中 学 校 教 員 養 成 課 程〔理科〕	741		地 学 科 354
	中 学 校 教 員 養 成 課 程〔英語〕	751	医 学 部	医 学 科 414
	中 学 校 教 員 養 成 課 程〔音楽〕	761		薬 学 科 514
	中 学 校 教 員 養 成 課 程〔美術〕	771	薬 学 部	製 薬 化 学 科 554
	中 学 校 教 員 養 成 課 程〔技術〕	781		土 木 建 設 工 学 科 614
	中 学 校 教 員 養 成 課 程〔家庭〕	791	工 学 部	機 械 シ ス テ ム 工 学 科 624
学 部	中 学 校 教 員 養 成 課 程〔保健〕	801		物 質 化 学 工 学 科 634
	中 学 校 教 員 養 成 課 程〔職業〕	811		電 気 ・ 情 報 工 学 科 644
	高等学校教員養成課程（保健体育）	821		
	聾 学 校 教 員 養 成 課 程	831		
	養護学校教員養成課程（小学部）	841		
	養護学校教員養成課程（中学部）〔国語〕	851		
	養護学校教員養成課程（中学部）〔社会〕	861		
	養護学校教員養成課程（中学部）〔理科〕	871		
	養護学校教員養成課程（中学部）〔音楽〕	881		
	養護学校教員養成課程（中学部）〔職業〕	891		
部	言語障害児教育教員養成課程	951		
	ス ポ ー ツ 科 学 課 程	961		
	総合科学課程（文化科学コース）	971		
	総合科学課程（自然科学コース）	981		
	総合科学課程（人間科学コース）	991		

③成績請求票	大学入試センターから交付された「 <input type="checkbox"/> 国 平成5 センター試験成績請求票A日程・前期日程用」をはり付けること なお、再交付を受けた場合は、再交付された成績請求票のみ有効である																
④第2志望 〔右表の学部・学科（課程）以外は記入しないこと〕	教育学部	<input type="checkbox"/> 高等学校教員養成課程（保健体育）の志願者で、スポーツ科学課程を第2志望とするもの <input type="checkbox"/> スポーツ科学課程の志願者で、高等学校教員養成課程（保健体育）を第2志望とするもの															
	薬学部	<input type="checkbox"/> 薬学科の志願者で、製薬化学科を第2志望とするもの <input type="checkbox"/> 製薬化学科の志願者で、薬学科を第2志望とするもの															
⑤生年月日	数字が1ケタの場合は、あたみに0を記入すること	例 昭和49年5月7日 <table border="1"> <tr><td>4</td><td>9</td><td>0</td><td>5</td><td>0</td><td>7</td></tr> </table>	4	9	0	5	0	7									
4	9	0	5	0	7												
⑥性別	男 女	<table border="1"> <tr><td>1</td></tr> <tr><td>2</td></tr> </table>	1	2													
1																	
2																	
⑦資格取得年	高等学校卒業見込み又は卒業の元号年を記入する	昭和63年 <table border="1"><tr><td>S</td><td>6</td><td>3</td></tr></table> 平成5年 <table border="1"><tr><td>H</td><td>0</td><td>5</td></tr></table>	S	6	3	H	0	5									
S	6	3															
H	0	5															
⑧選択受験科目	入学志願票の「選択受験科目」欄で○印を付したコード（数字）を記入すること 1科目の場合はA欄に（B欄は空欄） 2科目の場合はA、Bの両欄に記入する （注）学部・学科（課程）別選択受験科目一覧（24ページ）の該当者のみ記入すること	例 <table border="1"> <tr><td>1科目</td><td>A</td><td>B</td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>2科目</td><td>A</td><td>B</td></tr> <tr><td></td><td>0</td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>0</td></tr> </table>	1科目	A	B		1	0	2科目	A	B		0	5		1	0
1科目	A	B															
	1	0															
2科目	A	B															
	0	5															
	1	0															
⑨工業教員養成課程	工学部志願者で、入学志願票の「有」を○で囲んだ者のみ記入すること	<table border="1"> <tr><td>1</td></tr> </table>	1														
1																	



平成 5 年度  
金沢大学入学志願票  
(A 日程・前期日程用)

教育学部の一部の課程及び薬学部  
の志願者で、第 2 志望とする場  
合は当該学科、課程を記入するこ  
と。

工学部志願者で、工業教員養成  
課程を志願する場合は、「有」の文  
字を囲むこと。

高等学校所在の都道府県名を記  
入すること。

なお、大学入学資格検定合格者  
は検定試験合格（見込）年・月及  
び受験地の都道府県名を記入する  
こと。

国立・公立・私立のいずれかに  
○をつけ、出身高校名を記入する  
こと。

選択して受験する科目を課して  
いる学部・学科（課程・専攻）の  
志願者は、選択する科目のコード  
（数字）○で囲むこと。

（注）必修科目は、記入しないこ  
と。

受験 番号	※				※				※				※			
志 望 学 部	法 学部				法 学 科 (教育学部の一 部の課程のみ)				経済学部のみ (○で囲む)							
第 2 志 望	学科 課程				ふりがな				かなざわ 太郎							
工業教 員養成 課程	(志望する 場合は有を ○で囲む)				有				氏 名				金沢太郎 (男)			
									昭和 49 年 5 月 7 日 生							
通知を 受ける 場所	(ふりがな)				かなざわ 太郎				石川 都道府県				金沢市丸の内 1-1			
									〒920-				電話 (0762)-(62)-(4281)			
父 母 等	氏 名				金沢 一郎				志願者との 続柄				父・母			
	住所				〒920-				金沢市丸の内 1-1				電話 (0762)-(62)-(4281)			
出 願	高等学校所在 都道府県名				石川 都道府県				昭和				5 年 3 月			
資 格	→ 国立・公立・私立				角 間				平成				高校卒業見込 高校卒業 3 年修了見込 3 年修了 検 定 合 格 その他( )			
選択受 験科目	社 会				数 学				理 科				外国語			
	日 本 史				世 界 史				政 治 経 済 学				地 理			
	01				02				03				04			
	05				06				07				08			
	09				10				11				12			
	13				14				15							
経 歴	高校既卒者は、卒業後の経歴の該当事項にレ印を記入すること															
	昭和 年 月 ~ 昭和 年 月				平成 年 月 ~ 平成 年 月				□自宅学習 □大学在学 □予備校				□就職 □その他( )			
	昭和 年 月 ~ 昭和 年 月				平成 年 月 ~ 平成 年 月				□自宅学習 □大学在学 □予備校				□就職 □その他( )			

氏名は、「平成 5 センター試験成  
績請求票 (A 期) A 日程・前期日程  
用)」に印字されている氏名と同じ  
文字を用いて記入すること。

通知を受ける場所は、志願者本  
人と確実に連絡できる場所を記入  
すること。(父母等の連絡先と同じでもよい。)

「平成、昭和」のいずれか、及  
び「卒業見込、卒業等」のいずれ  
かに○をつけ、その年・月を記入  
すること。

18 歳以前に大学入学資格検定  
試験に合格した者は、18 歳に達し  
た元号の年月、また、18 歳以降に  
合格した者は、合格した元号の年  
月を記入すること。

記入上の注意

1. 入学志願票の作成にあたっては、この募集要項を十分熟読のうえ入学志願票等及び記入例を参考にして記入すること。
2. ペン又はボールペン（黒又は青に限る。）で丁寧に記入すること。
3. 漢字はかい書で、数字は算用で正確に記入し、該当する字句に○をつけること。
4. 誤って記入した場合は、誤記入の部分を二重線で消し、訂正すること。
5. 切り離してはいけないうしん目が切れてしまった場合には、両はしをセロテープで簡単にとめること。
6. ※印欄は、記入しないこと。
7. 記入不備のものは、受理できないので注意すること。

平成 5 年 度  
志 願 コ ー ド 票  
(A 日程・前期日程用)

①受験番号

※

②学部・学科(課程)

コード	1	5	1
-----	---	---	---

③成績請求票

大学入試センターから交付された  
「☒ 平成 5 センター試験 成績請求  
票 A 日程・前期日程用」をはり付ける

④第 2 志望

コード	
-----	--

⑤生 年 月 日

年	月	日
4	9	0
5	0	7

⑥性別

コード	1
-----	---

⑦資格取得年

H	0	5
---	---	---

⑧選択受験科目

コード	A	B
	1	0

⑨工業教員養成課程  
(工学部全学科)

コード	
-----	--

票願志学人学大元金  
(用録日限前・野日A)

学部	工学部	学科	機械工学科	課程	機械工学科
志望	1	5	1		
第 2 志望					
生 年 月 日	4	9	0	7	
性別	1				
資格取得年	H	0	5		
選択受験科目	A	B			
工業教員養成課程					

入学志願票等記入上の注意

- ※印の欄は、記入しないこと。
- (23ページ)「4 出願手続の(4)入学志願票等記入要領」を参照し、誤りのないように入力すること。

5 身体に障害

② 入学手

身体に障害(学  
験受験案内)の3  
は、出願に先立ち

(1) 相談締切E

あ(2) 提出書類

① 申請書

あ(3) 志望

○ 障害

あ(4) 受験

(1) 合格

○ 高等

こと、○ 日常

○ その

(2) ② 医師の診

③ その他考

(3) 相談先・申

(3) 提 金沢大学

電話

あ(5) 住

6 受験票等

受験票は、確定

に志願者あてに送

(注) この受験

ならない。

また、入

注意するこ

7 合格者発

あ(6) A 日程及び前

入出なお、本学にお

入学手続を行う陽

平の4月 発表E

発表場

あ(7) 合格者発表後

簿」(志願学部別

す。3月10日の午

## 5 身体に障害のある者の出願

身体に障害（学校教育法施行令第22条の2に準拠する身体障害の程度、「大学入試センター試験受験案内」の31ページ参照）のある入学志願者で、受験及び修学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、申請書等を提出し、相談すること。

(1) 相談締切日 平成4年12月18日（金）

(2) 提出書類

① 申請書（次の事項について記載したもの、様式は問わない。）

- 志望学部・学科（課程・専攻）
- 障害の種類・程度
- 受験及び修学上、特別な配慮を希望する事項
- 高等学校でとられていた特別措置
- 日常生活の状況
- その他参考となる事項

② 医師の診断書

③ その他参考書類（身体障害者手帳の写等）

(3) 相談先・申請書等提出先

金沢大学学生部入試課入学試験係

電話 0762 (62) 4281

住所 〒920 金沢市丸の内1-1

## 6 受験票等の送付

受験票は、確定試験場・試験場案内及び受験者心得とともに出願期間終了後の2月8日（月）に志願者あてに発送する。

（注）この受験票は、入学試験の際に大学入試センター試験受験票とともに、提示しなければならない。

また、入学手続の際には、提出しなければならないので紛失、汚損等のないように特に注意すること。

## 7 合格者発表

A日程及び前期日程合格者の受験番号及び氏名を次のとおり発表する。

なお、本学における合格発表は掲示のみとし、合格通知書及び入学手続に必要な書類用紙は、入学手続を行う際に交付する。

発表日時 3月10日（水）午前10時（予定）

発表場所 本学教養部（金沢市丸の内1番1号）前掲示場

合格者発表後入学手続きを行う期間が短いため、受験者の便宜を考慮し希望者に「合格者名簿」（志願学部別で合格者受験番号、氏名のみ記載）を電子郵便（レタックス）により送付します。3月10日の午後7時頃までに配達される予定であるが、万一未着の場合は、最寄りの配達局



若しくは、金沢中央郵便局郵便窓口課（☎0762-24-3822）まで問い合わせること。  
本学への電話等による照会には応じない。

（注）合格発表は、原則として大学入試センター試験受験の際の氏名で発表する。

## 8 欠員補充の方法

入学手続きの結果、欠員が生じた場合は、3月28日以降に「追加合格」を実施することがある。

通知は、志願票の「通知を受ける場所」へ直接行うので、不在にする場合も連絡のとれるように手配しておくこと。

なお、他の国公立大学（私立産業医科大学を含む）に入学手続きを完了した者は、それを取り消して、本学の入学手続きを行うことはできない。

## 9 入学手続

合格者の入学手続きは、次のとおり行う。

### （前 期 日 程）

- (1) 合格者は、入学手続期間内に直接来学のうえ必要な書類を提出し、所定の納付金を納付すること。

郵送による入学手続きは、受け付けない。

- (2) 入学手続期間（納入期間）

平成5年3月12日（金）、平成5年3月13日（土）

いずれも、午前9時から午後5時まで

- (3) 提出書類 本学受験票

大学入試センター試験受験票（提示のみ）

- (4) 授業料等納付金

入学料 230,000円 郵便為替（普通為替）

授業料 前期分 205,800円 郵便為替（普通為替）

（年 額）411,600円 郵便為替（普通為替）

（注）① 入学料と授業料（前期分）を同時に納入する場合は、1枚の郵便為替とすること。郵便為替の受取人指定欄、領収者欄等には何も記入してはいけない。

② 授業料の納入については、希望により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入できる。

③ 授業料（前期分）を上記納入期間に納入しないときは、平成5年4月1日から平成5年4月30日までに納入すること。

④ 入学手続終了者が平成5年3月31日までに入学を辞退した場合には、納入した者の申し出により当該授業料相当額を返還する。ただし、入学料は返還しない。

- (5) 入学手続場所 本学 学生会館（金沢市丸の内1番1号）

- (6) 留意事項

- ① 入学手続後は、一切の変更を認めない。  
② 入学手続期間内に入学手続きを完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱う。  
③ 他の国公立大学（私立産業医科大学を含む）に入学手続きを行った者は、これを辞退して本学に入学手続きを行うことはできない。  
④ 「前期日程」に合格し、3月13日までに入学手続きを行った者は、「B日程」「後期日程」を受験してもその合格者とはならない。  
⑤ その他入学時に必要な経費並びに入学料免除制度及び授業料免除制度については「学生生活」の項（54ページ以下）の該当事項を参照すること。

### （A 日 程）

- (1) 合格者は、入学手続期間内に直接来学のうえ必要な書類を提出し、所定の納付金を納付すること。

郵送による入学手続きは、受け付けない。

- (2) 入学手続期間（納入期間）

平成5年3月26日（金）、平成5年3月27日（土）

いずれも、午前9時から午後5時まで

- (3) 提出書類 本学受験票

大学入試センター試験受験票（提示のみ）

- (4) 授業料等納付金

入学料 230,000円 郵便為替（普通為替）

授業料 前期分 205,800円 郵便為替（普通為替）

（年 額）411,600円 郵便為替（普通為替）

（注）① 入学料と授業料（前期分）を同時に納入する場合は、1枚の郵便為替とすること。郵便為替の受取人指定欄、領収者欄等には何も記入してはいけない。

② 授業料の納入については、希望により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入できる。

③ 授業料（前期分）を上記納入期間に納入しないときは、平成5年4月1日から平成5年4月30日までに納入すること。

④ 入学手続終了者が平成5年3月31日までに入学を辞退した場合には、納入した者の申し出により当該授業料相当額を返還する。ただし、入学料は返還しない。

- (5) 入学手続場所 本学 学生会館（金沢市丸の内1番1号）

- (6) 留意事項

- ① 入学手続後は、一切の変更を認めない。  
② 入学手続期間内に入学手続きを完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱う。  
③ 他の国公立大学（私立産業医科大学を含む）に入学手続きを行った者は、これを辞退して本学に入学手続きを行うことはできない。  
④ その他入学時に必要な経費並びに入学料免除制度及び授業料免除制度については「学生生活」の項（54ページ以下）の該当事項を参照すること。

10 入学試験に関する問い合わせ

入学試験に関する問い合わせは、住所、氏名、郵便番号を明記した往復はがき又は封書（定形の返信用封筒に62円切手をはり付けたものを同封すること）により、次のとおり志願学部又は学生部入試課入学試験係あて行うこと。

学 部 等	住 所	電話番号
文 学 部 ・ 学 生 係	〒920-11 金沢市角間町	0762-64-5455
教 育 学 部 ・ 教 務 係	〒920-11 金沢市角間町	0762-64-5601
法 学 部 ・ 学 生 係	〒920-11 金沢市角間町	0762-64-5456
経 済 学 部 ・ 学 生 係	〒920-11 金沢市角間町	0762-64-5457
理 学 部 ・ 学 生 係	〒920-11 金沢市角間町	0762-64-5630
医 学 部 ・ 教 務 係	〒920 金沢市宝町13番1号	0762-62-8151
薬 学 部 ・ 学 生 係	〒920 金沢市宝町13番1号	0762-62-8151
工 学 部 ・ 学 生 係	〒920 金沢市小立野2丁目40番20号	0762-61-2101
学生部入試課入学試験係	〒920 金沢市丸の内1番1号	0762-62-4281

11 情報提供（テレフォンサービス）

平成5年度入学試験の実施状況について、次のとおりテレフォンサービスを行う。  
本学への直接電話等による照会には応じない。

(1) 期間及び情報内容

① 平成4年10月19日 ～ 平成5年1月25日

- 募集要項の請求方法
- 募集要項の内容
- その他の情報

② 平成5年1月25日 ～ 平成5年2月8日

- 出願状況（学部・学科（課程）ごとの志願者数及び倍率）

③ 平成5年2月8日 ～ 平成5年3月28日

- 合格発表について
- 入学手続きについて
- 試験場について
- その他の情報

④ 平成5年3月28日 ～ 平成5年4月3日頃

- 追加合格について

(2) 電話番号

0762(21)7700 [通話料金は有料]





# 1 募集人員

学部 (日程)	学 科	募集人員	備 考
経済学部 (後期日程)	経 済 学 科	33	
理学部 (後期日程)	数 学 科	5	
	物 理 学 科	5	
	化 学 科	10	
	生 物 学 科	5	
	地 学 科	7	
	計	32	
医学部 (後期日程)	医 学 科	10	
薬学部 (後期日程)	薬 学 科	10	
	製 薬 化 学 科	10	
	計	20	
工学部 (後期日程)	土 木 建 設 工 学 科	20	
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	30	
	物 質 化 学 工 学 科	25	
	電 気 ・ 情 報 工 学 科	23	
	計	98	
合 計		193	

# 2 入学者選抜方法等

後期日程の個別学力検査等は、次のとおり実施する。

## (1) 入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験並びに本学が行う個別学力検査等、調査書の審査及び健康診断の結果を総合して行う。

- ① 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等、個別学力検査等及び健康診断の詳細については、「(5)平成5年度入学者選抜の実施教科・科目等について」から「(9)健康診断」までの各項をそれぞれ参照すること。
- ② 大学入試センター試験及び個別学力検査等で、志望する学部・学科が課す教科・科目のすべてを受験しなければ、失格とする。
- ③ 「前期日程」に合格し、3月13日までに入学手続きを行った者は、「後期日程」を受験してもその合格者とはならない。

## (2) 学内併願

本学では、日程の異なった学部間及び同一学部内学科間の併願を認める。  
ただし、「A日程」と「前期日程」、「同一日程間」の併願はできないので注意すること。

## (3) 2段階選抜

- ① 次の学部の学科では、志願者が募集人員の下記倍数を超えた場合に、主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行うことがある。この場合、その合格者について個別学力検査等を行う。

医学部（医学科）	10倍
工学部（全学科）	8倍

## ② 第1段階選抜の合格者発表

発表は、平成5年2月16日（火）までに行う。

発表方法

### ア 第1段階選抜を実施しない場合

実施しない旨を、該当学部において掲示発表するとともに、志願者全員に受験票を送付する。

### イ 第1段階選抜を実施した場合

合格者の受付番号（入学検定料領収証書の氏名欄に記載されている）を、該当学部において掲示発表するとともに、合格者には合格通知書及び受験票を、不合格者には不合格通知書及び入学検定料の一部返還申請書等を送付する。

## (4) 第2志望

薬学部の薬学科及び製薬化学科の志願者は、互いに他を第2志望とすることができる。

## (5) 平成5年度入学選抜の実施教科・科目等について

入学志願者に解答させる 教科・科目名等 学部・学科名		選 抜 の 対 象	大学入試センター 試験で入学志願者に 解答させる教科・ 科目名	個別学力検査等 の教科・科目等	大学入試 センター 試験の利用 方法	そ の 他
経済学部	経済学科	一般選抜 の全部	国社(倫, 日, 世, 地理, 現社から1) 数(「数Ⅰ」と「数Ⅱ」, 簿, 工から1) 理(物, 化, 生, 地 学, 理Ⅰから1) 外(英, 独, 仏から 1)	小論文 (現代の文化・社会 ・経済に関する課 題について論述さ せる。英文を含む 出題もあり得る。 英和辞典1冊の持 込みを認める。)		
	数学科	一般選抜 の全部	数(「数Ⅰ」と「数Ⅱ」, 簿, 工から1) 理(物, 化, 生, 地 学, 理Ⅰから1) 外(英, 独, 仏から 1)	数(数Ⅰ, 代幾, 基 解, 微積, 確統)		
	物理学科	一般選抜 の全部	国社(倫, 日, 世, 地理, 現社から1) 数(「数Ⅰ」と「数Ⅱ」, 簿, 工から1) 理(物と「化, 生, 理Ⅰから1」) 外(英, 独, 仏から 1)	面接 (物理学に対する勉 学意欲と資質等を 判断するための試 問を行う。)	40ページ 「(6)配点」 を参照す ること	◎ 大学入試セン ター試験の理科 を1科目又は2 科目選択受験し なければならない 学部・学科にお いて、複数の 科目を受験した 受験者の成績 は、高得点の ものを本人の成績 とする。
	化学科	一般選抜 の全部	国社(倫, 日, 世, 地理, 現社から1) 数(「数Ⅰ」と「数Ⅱ」, 簿, 工から1) 理(物, 化) 外(英, 独, 仏から 1)	理(化)		◎ 各教科とも受 験科目数が複数 であっても同一 試験時間内に解 答させる。
	生物学科	一般選抜 の全部	国社(倫, 日, 世, 地理, 現社から1) 数(「数Ⅰ」と「数Ⅱ」, 簿, 工から1) 理(物, 化, 生, 地 学, 理Ⅰから1) 外(英, 独, 仏から 1)	面接 (生物学に対する勉 学意欲と資質等を 判断するための試 問を行う。)		
	地学科	一般選抜 の全部	国社(倫, 日, 世, 地理, 現社から1) 数(「数Ⅰ」と「数Ⅱ」, 簿, 工から1) 理(物, 化, 生, 地 学, 理Ⅰから1) 外(英, 独, 仏から 1)	面接 (地学に対する勉 学意欲と資質等を 判断するための試 問を行う。)		
	医学科	一般選抜 の全部	国社(倫, 日, 世, 地理, 現社から1) 数(「数Ⅰ」と「数Ⅱ」, 簿, 工から1) 理(物, 化, 生から 2) 外(英, 独, 仏から 1)	小論文 (英文で出題し、現 代の文化・社会・医学 等に関する課題につ いて論述させる。)		

入学志願者に解答させる 教科・科目名等 学部・学科名		選 抜 の 対 象	大学入試センター 試験で入学志願者に 解答させる教科・ 科目名	個別学力検査等 の教科・科目等	大学入試 センター 試験の利用 方法	そ の 他
薬学部	薬製薬化学科	一般選抜 の全部	数(「数Ⅰ」と「数Ⅱ」, 工から1) 理(化) 外(英, 独, 仏から 1)	理(化)		
	土木建設工学科	一般選抜 の全部	国社(倫, 日, 世, 地理, 現社から1) 数(「数Ⅰ」と「数Ⅱ」, 簿, 工から1) 理(物, 化, 生, 地 学, 理Ⅰから1) 外(英, 独, 仏から 1)	面接 (多面的な試問を行 い、勉学遂行意欲 を評定する。)	40ページ 「(6)配点」 を参照す ること	◎ 大学入試セン ター試験の理科 を1科目又は2 科目選択受験し なければならない 学部・学科にお いて、複数の 科目を受験した 受験者の成績 は、高得点の ものを本人の成績 とする。
	機械システム工学科	一般選抜 の全部	国社(倫, 日, 世, 地理, 現社から1) 数(数Ⅰ, 数Ⅱ) 理(物) 外(英, 独, 仏から 1)	小論文 (科学技術一般に関 する素養に基づい た800字程度の 作文)		◎ 各教科とも受 験科目数が複数 であっても同一 試験時間内に解 答させる。
	物質化学工学科	一般選抜 の全部	国社(倫, 日, 世, 地理, 現社から1) 数(数Ⅰ, 数Ⅱ) 理(物, 化から1) 外(英, 独, 仏から 1)	面接 (化学・物理学など の基礎的事項に関 する理解力と表現 力を問う。)		
	電気・情報工学科	一般選抜 の全部	国社(倫, 日, 世, 地理, 現社から1) 数(数Ⅰ, 数Ⅱ) 理(物) 外(英, 独, 仏から 1)	面接 (科学技術の勉学・ 研究に必要な適 性、能力及び意欲 を評価する。)		

(注) 大学入試センター試験科目については、出願に際し特に次の事項に注意すること。

1. 志願する学部・学科が課す教科・科目が、実際受験した教科・科目と一致すること。
2. 社、理のうち「現社」及び「理Ⅰ」を選択解答することができる者は、高等学校の普通科、理数科の卒業(見込み)者以外の者に限る。
3. 数、のうち「簿」「工」を選択解答することができる者は、高等学校において、「簿記会計Ⅰ」・「簿記会計Ⅱ」又は「工業数理」を履修した者及び文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限る。

備考 個別学力検査等の教科・科目等は、表中次のとおり略記した。  
 数 学・・・数Ⅰ(数学Ⅰ), 代幾(代数・幾何), 基解(基礎解析), 微積(微分・積分), 確統(確率・統計)  
 理 科・・・化(化学)

## (6) 配 点

大学入試センター試験（大試と略す）及び個別学力検査等（個別と略す）の配点は、次のとおりである。

学 部 ・ 学 科			配点 区分	教 科 等							合計
				国語	社会	数学	理科	外国語	実技	小論文	
経 済 学 部			大試	200	100	200	100	200	—	—	800
			個別	—	—	—	—	—	—	800	800
理 学 部	数 学 科		大試	—	—	200	100	200	—	—	500
			個別	—	—	400	—	—	—	—	400
	物 理 学 科		大試	100	100	200	#300	300	—	—	1,000
			個別	—	—	—	—	—	—	300	300
学 部	化 学 科		大試	50	50	100	100	100	—	—	400
			個別	—	—	—	300	—	—	—	300
	生 物 学 科		大試	50	50	200	200	250	—	—	750
			個別	—	—	—	—	—	—	250	250
地 学 科			大試	50	50	200	200	200	—	—	700
			個別	—	—	—	—	—	—	400	400
医 学 部			大試	100	100	200	200	200	—	—	800
			個別	—	—	—	—	—	—	200	200
薬 学 部			大試	—	—	200	200	100	—	—	500
			個別	—	—	—	250	—	—	—	250
工 学 部	土 木 建 設 工 学 科		大試	100	100	100	100	100	—	—	500
			個別	—	—	—	—	—	—	100	100
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科		大試	100	50	200	150	200	—	—	700
			個別	—	—	—	—	—	—	100	100
	物 質 化 学 工 学 科		大試	100	50	250	200	200	—	—	800
			個別	—	—	—	—	—	—	100	100
	電 気 ・ 情 報 工 学 科		大試	50	50	200	100	100	—	—	500
			個別	—	—	—	—	—	—	100	100

(注) 理学部の物理学科の#印は、物理（200点）、〔化学、生物、理科Ⅰから1〕（100点）であることを示す。

## (7) 試験期日及び試験時間割

(等学対面) 試験期 (8)

学部・学科		月日（曜）	3月11日（木）
経 済 学 部		小論文	9：30～12：30
理 学 部	数 学 科	数 学	10：00～13：00
	物 理 学 科	面 接 （詳細は，受験票送付時に通知する）	9：00～
	化 学 科	理 科（化学）	10：00～12：00
	生 物 学 科	面 接 （詳細は，受験票送付時に通知する）	9：00～
	地 学 科	面 接 （詳細は，受験票送付時に通知する）	9：00～
医 学 部		小論文	10：00～12：00
薬 学 部		理 科（化学）	10：00～12：00
工 学 部	土 木 建 設 工 学 科	面 接 （詳細は，受験票送付時に通知する）	9：00～
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	小論文	13：30～15：00
	物 質 化 学 工 学 科	面 接 （詳細は，受験票送付時に通知する）	9：00～
	電 気 ・ 情 報 工 学 科	面 接 （詳細は，受験票送付時に通知する）	9：00～



### (8) 試験場（面接会場等）

志 願 学 部	試 験 場	所 在 地
経 済 学 部	経 済 学 部	金沢市角間町
理 学 部	理 学 部	金沢市角間町
医 学 部	医 学 部	金沢市宝町13番1号
薬 学 部	薬 学 部	金沢市宝町13番1号
工 学 部	工 学 部	金沢市小立野2丁目40番20号

（注）試験場等の詳細は、2月16日（火）受験票送付の際に通知する。

### (9) 健康診断

- ① イ. 調査書の「健康の状況」又は健康診断書によって審査し、必要と認める者については、精密検査を3月11日（木）午後本学で実施する。  
ロ. 精密検査の該当者には、実施に関する事項を3月11日の学力検査、小論文及び面接終了時までに通知する。  
ハ. 精密検査の該当者が受検しない場合は、失格とする。
- ② 調査書又は健康診断書に記載された事項が入学後本学で実施する健康診断の結果と著しく相違し、修学に必要な条件を満たしていないことが判明した場合には、入学後であっても入学許可を取り消すことがある。
- ③ 学部・学科によっては、視力障害、聴力障害、言語障害及び運動機能障害（肢体不自由）等のある者は、修学上支障を来すことがある。該当する者は、出願に先立ち上記事項に留意するとともに、不明の点があれば、あらかじめ学生部入試課入学試験係へ問い合わせること。

## 3 出願期間

平成5年1月25日（月）～平成5年2月2日（火）

受付は、土曜日及び日曜日を除き、午前9時から午後5時までとする。

持参する場合も、郵送する場合も、平成5年2月2日（火）午後5時までに必着すること。ただし、締切日（2月2日）を過ぎて郵送で提出された願書のうち、平成5年1月31日（日）までの発信局日付印のある書留速達便にかぎり受理する。

#### ◎出願状況の情報提供について

各学部・学科の出願状況（志願者数及び倍率）について、次の期間中テレホンサービスで情報提供を行う。

平成5年1月25日（月）午後7時頃 ～ 2月8日（月）

電話番号 0762（21）7700（通話料金は有料）

## 4 出願手続

### (1) 出願方法

志願者は、「出願に必要な書類等」44ページ参照（後期日程用）を一括して、本学所定の封筒に入れ、出願期間内に志願する学部提出すること。

なお、出身高等学校等で取りまとめて提出する場合も、志願者ごとに本学所定の封筒に入れて提出すること。

（出願に当たっての注意事項）

- ① 「後期日程」の出願用紙・封筒を使用すること。
- ② 大学入試センター試験の受験票及び成績請求票の再発行を受けた場合は、再発行された受験票及び成績請求票のみが有効である。この場合は、再発行された成績請求票により出願しなければ、失格とする。
- ③ 他の国公立大学（私立産業医科大学を含む）・学部の前期日程入学手続者は、本学の後期日程を受験しても合格者とはならない（当該大学・学部の定める入学手続を取らなかった者を除く。）。)
- ④ 他の国公立大学（私立産業医科大学を含む）・学部の推薦入学合格者は、本学を受験しても合格者とはならない（当該大学・学部の定める入学辞退手続により入学辞退し、その許可を得た者を除く。）。)
- ⑤ 出願書類に不備がある場合は、受理しないことがある。
- ⑥ 出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更及び検定料の払い戻しはしない。（ただし、第1段階選抜の不合格者には、申し出により検定料の一部を返還する。。）
- ⑦ 出願書類に不正な事実があった場合は、入学許可を取り消すことがある。

(2) 出願に必要な書類等

①入学志願票 志願コード票 受験票 写真票	本要項に添付の用紙により作成すること 「国 国 平成5 センター試験成績請求票B日程・後期日程用」 及び写真2枚をそれぞれ所定の欄にはり付けること（「(4)入学志願票等 記入要領」を参照すること）
②検 定 料	14,000円 …………… 郵便為替（普通為替に限る） 郵送による場合も、普通為替を出願書類に同封して提出すること なお、この普通為替の受取人指定欄、領収者欄等には何も記入しない こと 第1段階選抜で不合格となった場合は、返還請求手続きを取ることに より11,500円を返還する（返還に要する書類は、不合格通知に同封する）
③検定料納付及び 領収証書用紙	本要項に添付の用紙により作成すること 添付のはがき部分に、郵便番号・住所・氏名を記入すること （切手を貼付する必要はない）
④調 査 書	文部省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの
⑤健 康 診 断 書	平成3年3月以前の高등학교卒業者及び大学入学資格検定合格者等は、 本要項に添付の用紙により視力、聴力、結核並びにその他の疾病及び異 常について医師が証明し、厳封したもの （平成4年3月高등학교卒業者及び平成5年3月卒業見込みの者は、提 出の必要はない）
⑥返 送 用 封 筒	受験票等送付用で、本要項に添付の封筒に、住所、氏名、郵便番号を 明記し、定形速達料金の切手（272円）をはり付けたもの
⑦合格者名簿送付 申 込 書	合格発表（本学の合格発表は学内掲示のみとする） 受験者の便宜を考慮し、希望者に対して合格者名簿（学部別）を合格 者発表と同時に電子郵便により送付する 希望する者は、本要項に添付の用紙に志願者のあて先、氏名等を明記 し、510円分の郵便切手をはり申し込むこと （詳しくは50ページを参照すること）

（注）1 大学入学資格検定試験の合格者は、合格証明書及び合格成績証明書をもって調査  
書に代える。

2 調査書の提出困難な学校（廃校、被災等）の出身者は、その旨を証明した書類を  
もって調査書に代える。

3 文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了者は、成績証明書をもって調査  
書に代える。

4 外国人は、上記書類のほか、外国人登録済証明書（在留資格が明示されたもの）  
を添付すること。

5 文部大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育  
施設の修了者は、修了証明書及び成績証明書をもって調査書に代える。

(3) 出願書類等の提出先

志願学部	提 出 先
経済学部	経済学部・学生係 〒920-11 金沢市角間町
理 学 部	理学部・学生係 〒920-11 金沢市角間町
医 学 部	医学部・教務係 〒920 金沢市宝町13番1号
薬 学 部	薬学部・学生係 〒920 金沢市宝町13番1号
工 学 部	工学部・学生係 〒920 金沢市小立野2丁目40番20号

(4) 入学志願票等記入要領

入学志願票・志願コード票・受験票・写真票の「※」印欄を除き、以下の指示に従って該  
当事項を正確に記入すること。

① 入学志願票

（注意すべき項目）

第 2 志 望	○ 薬学部志願者で、他の学科を第2志望とする場合 は、当該第2志望の学科名を○で囲むこと
出 願 資 格	○ 18歳以前に大学入学資格検定試験に合格した者は、 18歳に達した元号の年月、また、18歳以降に合格し た者は、合格した元号の年月を記入すること

## ② 志願コード票

次の表の説明に従ってコード等を記入すること（A日程、前期日程の志願コード票については25ページを参照すること）。

区 分	説 明	コ ー ド 等 記 入 例				
② 学部・学科	次の学部・学科コード表により記入すること 〔学部・学科コード表〕					
学部・学科	コード	学部・学科	コード	学 部 ・ 学 科	コード	
経 済 学 部	177	医 学 部	417	工 学 部	土木建設工学科	617
理 学 部	数 学 科	317	薬 学 部	517	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	627
	物理学科	327	製 薬 学 科	557	物 質 化 学 工 学 科	637
	化 学 科	337			電 気 ・ 情 報 工 学 科	647
	生物学科	347				
	地 学 科	357				
③ 成績請求票	大学入試センターから交付された「国 圏 平成5 センター試験成績請求票B日程・後期日程用」をはり付けること なお、再交付を受けた場合は、再交付された成績請求票のみ有効である					
④ 第 2 志 望 (薬学部以外は記入を要しない)	薬学部 ○薬学科の志願者で、製薬化学科を第2志望とするもの ○製薬化学科の志願者で、薬学科を第2志望とするもの	5 5 5 1				
⑤ 生 年 月 日	数字が1ケタの場合は、あたりに0を記入すること	例 昭和49年5月7日 4 9 0 5 0 7				
⑥ 性 別	男 女	1 2				
⑦ 資格取得年	高等学校卒業見込み又は卒業の元号を記入すること	昭和63年 S 6 3 平成5年 H 0 5				



平成 5 年度  
金沢大学入学志願票  
(後期日程用)

受験 番号	※		※		※	
志 望 学 部	薬 学部		薬 学 科		第 2 志 望	薬 学 科 製薬化学科
ふりがな	かな ざわ た 3う					
氏 名	金 沢 太 郎					男 女
	昭和 49 年 5 月 7 日 生					
通知を 受ける 場所	(ふりがな) かな ざわ し ま 3う 石川 都道府県 金沢市丸の内 1-1 〒920- 電話 (0762)-(62)-(4281)					
父 母 等	氏名	金沢一郎		志願者との 続柄	② 父 ・ 母 その他 ( )	
	住所	石川県金沢市丸の内 1-1 〒920- 電話 (0762)-(62)-(4281)				
出 願 資 格	高等学校所在 都道府県名	石川 都道府県		昭和 5 年 3 月	高校卒業見込 高校卒業 3 年修了見込 3 年修了 検 定 合 格 その他 ( )	
	国 立 ・ 公 立 ・ 私 立	角 間		平成		
経 歴	高校既卒者は、卒業後の経歴の該当事項にレ印を記入すること					
	昭和 年 月 ~ 昭和 年 月	昭和 年 月		□自宅学習 □大学在学 □予備校		
	平成 年 月 ~ 平成 年 月	平成 年 月		□就職 □その他 ( )		
	昭和 年 月 ~ 昭和 年 月	昭和 年 月		□自宅学習 □大学在学 □予備校		
	平成 年 月 ~ 平成 年 月	平成 年 月		□就職 □その他 ( )		

通知を受ける場所は、志願者本人と確実に連絡できる場所を記入すること。  
(父母等の連絡先と同じでもよい。)

高等学校所在の都道府県名を記入すること。  
なお、大学入学資格検定合格者は検定試験合格(見込)年・月及び受験地の都道府県名を記入すること。

国立・公立・私立のいずれかに○をつけ、出身高校名を記入すること。

薬学部志願者で、他の学科を第2志望とする場合は、当該第2志望の学科名を○で囲むこと。

氏名は、「平成5センター試験成績請求票(Ⅱ後B日程・後期日程用)」に印字されている氏名と同じ文字を用いて記入すること。

18歳以前に大学入学資格検定試験に合格した者は、18歳に達した元号の年月、また、18歳以降に合格した者は、合格した元号の年月を記入すること。

「平成、昭和」のいずれか、及び「卒業見込、卒業等」のいずれかに○をつけ、その年・月を記入すること。

記入上の注意

1. 入学志願票の作成にあたっては、この募集要項を十分熟読のうえ入学志願票等及び記入例を参考にして記入すること。
2. ペン又はボールペン(黒又は青に限る。)で丁寧に記入すること。
3. 漢字はかい書で、数字は算用で正確に記入し、該当する字句に○をつけること。
4. 誤って記入した場合は、誤記入の部分を二重線で消し、訂正すること。
5. 切り離してはいけないミシン目が切れてしまった場合には、両はしをセロテープで簡単にとめること。
6. ※印欄は、記入しないこと。
7. 記入不備のものは、受理できないので注意すること。

# 平成5年度 志願コード票 (後期日程用)

①受験番号

※

②学部・学科

コード 5 1 7

③成績請求票

大学入試センターから交付された  
「国 国 平成5センター試験 成績請求  
票 B日程・後期日程用」をはり付ける

④第2志望  
(薬学部のみ)

コード 5 5

⑤生 年 月 日

年 月 日  
4 9 0 5 0 7

⑥性別

コード 1

⑦資格取得年

H 0 5

入学志願票等記入上の注意

- ※印の欄は、記入しないこと。
- (45ページ)「4 出願手続の(4)入学志願票等記入要領」を参照し、誤りのないように入力すること。

## 金沢大学入学志願票 (田野日限封)

姓 名	田 野 日 限	姓 名	田 野 日 限
生 年 月 日	4 9 0 5 0 7	生 年 月 日	4 9 0 5 0 7
学 部	薬 学 部	学 部	薬 学 部
学 科	薬 学	学 科	薬 学
志 望 学 部	薬 学 部	志 望 学 部	薬 学 部
志 望 学 科	薬 学	志 望 学 科	薬 学
第2志望学部	薬 学 部	第2志望学部	薬 学 部
第2志望学科	薬 学	第2志望学科	薬 学
資格取得年	H 0 5	資格取得年	H 0 5
性別	1	性別	1
成績請求票	大学入試センターから交付された 「国 国 平成5センター試験 成績請求 票 B日程・後期日程用」をはり付ける	成績請求票	大学入試センターから交付された 「国 国 平成5センター試験 成績請求 票 B日程・後期日程用」をはり付ける

## 5 身体に障害の

身体に障害(学校教育

受験案内」の31ページ

出願に先立ち、申請書

(1) 相談締切日 平

(2) 提出書類

① 申請書(次の

○ 志望学部・

○ 障害の種類

○ 受験及び修

○ 高等学校で

○ 日常生活の

○ その他参考

② 医師の診断書

③ その他参考書

(3) 相談先・申請書

金沢大学学

電話 0

住所 :

## 6 受験票等の

受験票は、試験場

に志願者あて発送す

なお、2段階選抜

内を受験者心得とと

(注) この受験票は

らない。

また、入学手

注意すること。

## 7 合格者発表

後期日程合格者の

なお、本学にお

入学手続きの際に

発表日時

発表場所

## 5 身体に障害のある者の出願

身体に障害(学校教育法施行令第22条の2に準拠する身体障害の程度、「大学入試センター試験受験案内」の31ページ参照)のある入学志願者で、受験及び修学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、申請書等を提出し、相談すること。

(1) 相談締切日 平成4年12月18日(金)

(2) 提出書類

① 申請書(次の事項について記載したもの、様式は問わない。)

○ 志望学部・学科

○ 障害の種類・程度

○ 受験及び修学上、特別な配慮を希望する事項

○ 高等学校でとられていた特別措置

○ 日常生活の状況

○ その他参考となる事項

② 医師の診断書

③ その他参考書類(身体障害者手帳の写等)

(3) 相談先・申請書等提出先

金沢大学学生部入試課入学試験係

電話 0762 (62) 4281

住所 〒920 金沢市丸の内1-1

## 6 受験票等の送付

受験票は、試験場・集合場所等の案内、受験者心得とともに出願期間終了後の2月16日(火)に志願者あて発送する。

なお、2段階選抜を実施した学部・学科の第1段階選抜合格者には、試験場・集合場所等の案内を受験者心得とともに出願期間終了後の2月16日(火)に志願者あて発送する。

(注) この受験票は、入学試験の際に大学入試センター試験受験票とともに、提示しなければならない。

また、入学手続きの際には、提出しなければならないので紛失、汚損等のないように特に注意すること。

## 7 合格者発表

後期日程合格者の受験番号及び氏名は、次のとおり発表する。

なお、本学における合格発表は掲示のみとし、合格通知書及び入学手続きに必要な書類用紙は、入学手続きの際に交付する。

発表日時 3月20日(土) 午前10時(予定)

発表場所 本学教養部(金沢市丸の内1番1号)前掲示場



合格者発表後入学手続を行う期間が短いため、受験者の便宜を考慮し希望者に「合格者名簿」(志願学部別で合格受験番号、氏名のみ記載)を電子郵便(レタックス)により送付します。

3月20日の午後7時頃までに配達される予定であるが、万一未着の場合は、最寄りの配達局若しくは、金沢中央郵便局郵便窓口課(☎0762-24-3822)まで問い合わせること。

本学への電話等による照会には応じない。

(注)合格発表は、原則として大学入試センター試験受験の際の氏名で発表する。

## 8 欠員補充の方法

入学手続の結果、欠員が生じた場合は、3月28日以降に「追加合格」を実施することがある。通知は、志願票の「通知を受ける場所」へ直接行うので、不在にする場合も連絡のとれるように手配しておくこと。

なお、他の国公立大学(私立産業医科大学を含む)に入学手続きを完了した者は、それを取り消して、本学の入学手続きを行うことはできない。

## 9 入学手続

合格者の入学手続きは、次のとおり行う。

### (後 期 日 程)

(1) 合格者は、入学手続期間内に直接来学のうえ必要な書類を提出し、所定の納付金を納入すること。

郵送による入学手続きは、受け付けない。

(2) 入学手続期間(納入期間)

平成5年3月26日(金)、平成5年3月27日(土)

いずれも、午前9時から午後5時まで

(3) 提出書類 本学受験票

大学入試センター試験受験票(提示のみ)

(4) 授業料等納付金

入学科 230,000円 郵便為替(普通為替)

授業料 前期分 205,800円 郵便為替(普通為替)

(年 額) 411,600円 郵便為替(普通為替)

(注)① 入学科と授業料(前期分)を同時に納入する場合は、1枚の郵便為替とすること。

郵便為替の受取人指定欄、領収者欄等には何も記入してはいけない。

② 授業料の納入については、希望により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入できる。

③ 授業料(前期分)を上記納入期間に納入しないときは、平成5年4月1日から平成5年4月30日までに納入すること。

④ 入学手続終了者が平成5年3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申し出により当該授業料相当額を返還する。ただし、入学科は返還しない。

(5) 入学手続場所 本学 学生会館(金沢市丸の内1番1号)

(6) 留意事項

① 入学手続後は、一切の変更を認めない。

② 入学手続期間内に入学手続きを完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱う。

③ 他の国公立大学(私立産業医科大学を含む)に入学手続きを行った者は、これを辞退して本学に入学手続きを行うことはできない。

④ 「前期日程」に合格し、3月13日までに入学手続きを行った者は、「B日程」「後期日程」を受験してもその合格者とはならない。

⑤ その他入学時に必要な経費並びに入学料免除制度及び授業料免除制度については「学生生活」の項(54ページ以下)の該当事項を参照すること。

## 10 入学試験に関する問い合わせ

入学試験に関する問い合わせは、住所、氏名、郵便番号を明記した往復はがき又は封書(定形の返信用封筒に62円切手をはり付けたものを同封すること)により、次のとおり志望学部又は学生部入試課入学試験係あて行うこと。

学 部 等	住 所	電話番号
経済学部・学生係	〒920-11 金沢市角間町	0762-64-5457
理学部・学生係	〒920-11 金沢市角間町	0762-64-5630
医学部・教務係	〒920 金沢市宝町13番1号	0762-62-8151
薬学部・学生係	〒920 金沢市宝町13番1号	0762-62-8151
工学部・学生係	〒920 金沢市小立野2丁目40番20号	0762-61-2101
学生部入試課入学試験係	〒920 金沢市丸の内1番1号	0762-62-4281

## 11 情報提供(テレフォンサービス)

平成5年度入学試験の実施状況について、次のとおりテレフォンサービスを行う。

本学への直接電話等による照会には応じない。

(1) 期間及び情報内容

① 平成4年10月19日 ~ 平成5年1月25日

○ 募集要項の請求方法

○ 募集要項の内容

○ その他の情報

② 平成5年1月25日 ~ 平成5年2月8日

○ 出願状況(学部・学科ごとの志願者数及び倍率)

③ 平成5年2月8日 ～ 平成5年3月28日

- 合格発表について
- 入学手続きについて
- 試験場について
- その他の情報

④ 平成5年3月28日 ～ 平成5年4月3日頃

- 追加合格について

(2) 電話番号

0762(21)7700 [通話料金は有料]

さき合の関るを関の起結学人 01

学 部	学 科	学 年	学 号
経済学部	経済学科	1年	0762 01 2121
経済学部	経済学科	2年	0762 01 2122
経済学部	経済学科	3年	0762 01 2123
経済学部	経済学科	4年	0762 01 2124
経済学部	経済学科	5年	0762 01 2125
経済学部	経済学科	6年	0762 01 2126
経済学部	経済学科	7年	0762 01 2127
経済学部	経済学科	8年	0762 01 2128
経済学部	経済学科	9年	0762 01 2129
経済学部	経済学科	10年	0762 01 2130

(スローサベキマテ) 掛掛掛掛 11

○入学料免除申請書の請求

郵便で請求する者は、免除申請の理由(電話番号を記入)を

番号を記入した返信用封筒(定形の封筒に72円切手をはったもの)を同封してください。

なお、入学料免除について、不明な点があれば厚生課厚生第一係へ

○請求先

〒920 金沢市丸の内1番1号

金沢市厚生課厚生第一係(電話0762)52-42

〔学 生 生 活〕

3 授業料免除について

1. 授業料免除の対象者

(1) 経済的理由によって授業料を納付することが困難と認められる者

(2) 入学前1年以内(平成4年4月から平成5年3月の間)に、入学する者の学費を主として負担している者が死にし、又は入学する者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる者

(3) 前号に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある者

2. 申請書類及び添付書類

(1) 申請者全員が必要とする書類

アバてコ制免様学人 S

申請書類等	留意事項等	発行先
① 経済的理由による授業料免除申請書(所定様式)	記入上の注意を参照して記入し	香取市の制免様学人 I
② 家族調査書(所定様式)	記入上の注意を参照して記入し	香取市の制免様学人 I
③ 所得証明書(所定様式)	記入上の注意を参照して記入し	香取市の制免様学人 I
④ 所得証明書(所定様式)	記入上の注意を参照して記入し	香取市の制免様学人 I
⑤ 所得証明書(所定様式)	記入上の注意を参照して記入し	香取市の制免様学人 I
⑥ 所得証明書(所定様式)	記入上の注意を参照して記入し	香取市の制免様学人 I
⑦ 所得証明書(所定様式)	記入上の注意を参照して記入し	香取市の制免様学人 I
⑧ 所得証明書(所定様式)	記入上の注意を参照して記入し	香取市の制免様学人 I
⑨ 所得証明書(所定様式)	記入上の注意を参照して記入し	香取市の制免様学人 I
⑩ 所得証明書(所定様式)	記入上の注意を参照して記入し	香取市の制免様学人 I

1 入学時に必要な経費

授業料等学生納付金

入学料	230,000円
授業料 前期分	205,800円
(年額)	411,600円

(注) 授業料の納入については、希望により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。

その他必要な経費は、次のとおりです。

- (1) 学生健康保険組合費 4年分8,000円 (医学部は6年分12,000円)
- (2) 学生教育研究災害傷害保険料
  - 文学部, 教育学部, 法学部, 経済学部 (4年分) 2,300円
  - 理学部, 薬学部, 工学部 (4年分) 3,000円
  - 医学部 (6年分) 4,150円

参 考

教科書代は、当初20,000円 ~ 30,000円程度必要です。

2 入学料免除について

1. 入学料免除の対象者

- (1) 入学前1年以内(平成4年4月から平成5年3月の間)に、入学する者の学資を主として負担している者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者
- (2) 上記(1)に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある者

上記(1)及び(2)の事由に該当する者は、願い出により入学料の全額又は半額が免除されることがあります。

後日この決定通知をしますが、半額免除又は不許可になった者は、その通知書に指定してある日までに入学料を納付しない場合は除籍となるので注意してください。

2. 入学料免除申請手続

区 分	申 請 書 の 請 求	申請書の提出（入学手続期間）	申 請 書 類
推薦による者	2 月 3 日 まで	2 月12日（金） , 15 日（月）	・ 入学料免除申請書 ・ 学資を主として負担している者の市区町村長の所得証明書 ・ 風水害等を受けた場合は罹災証明書 ・ その他の証明書
前期日程の者	3 月 2 日 まで	3 月12日（金） ～ 13 日（土）	
A 日 程 の 者	3 月 16 日 まで	3 月26日（金） ～ 27 日（土）	
後期日程の者			

○入学料免除申請書の請求

郵便で請求する者は、免除申請の理由(電話番号を記入)を添え、自己の住所・氏名・郵便番号を記入した返信用封筒(定形の封筒に72円切手をはったもの)を同封してください。

なお、入学料免除について、不明な点があれば厚生課厚生第一係へ照会してください。

○請求先

〒920 金沢市丸の内1番1号

金沢大学学生部厚生課厚生第一係〔電話(0762) 62-4281 内線286〕

3 授業料免除について

1. 授業料免除の対象者

- (1) 経済的理由によって授業料を納付することが困難であり、かつ学業成績が優秀と認められる者
- (2) 入学前1年以内(平成4年4月から平成5年3月の間)に、入学する者の学資を主として負担している者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる者
- (3) 前号に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある者

2. 申請書類及び添付書類

- (1) 申請者全員が必要とする書類

申請書類等	留意事項等	発行先
①授業料免除申請書(所定様式)	申請事由は具体的かつ詳細に記入してください。	入学手続きの時に渡す入学者の手引に添付してあります。
②家族調書等(所定様式)	「授業料免除申請書・家族調書等記入上の注意」を参照して記入してください。	同上
③家計調書(所定様式)	「家計調書記入要領」を参照して記入してください。	同上
④所得証明書(所定様式)	生計を一にする世帯内で所得のある者全員(年金受給者を含む)について、市区町村長発行の「平成3年分の所得証明書」及び「平成4年分の源泉徴収票又は確定申告書(控)の写」等を必ず併せて提出してください。	市区町村役場、勤務先、税務署へ提出した写



(2) その他の添付書類

次の表の1～14に該当する者は、各証明書を添付してください。

該 当 事 項		添 付 証 明 書	発 行 先
1	転職又は新たに就職した場合 (平成4年1月以降)	源泉徴収票(平成4年分)	勤 務 先
2	転職又は新たに就職した場合 (平成5年1月以降)	年収見込証明書又は最近2～3か月分の月収明細書	勤 務 先
3	新たに給与所得以外の所得が生じた場合 (平成4年1月以降)	確定申告書(平成4年分)(控)の写	税務署へ提出した写
4	学資負担者が死亡した場合 (平成4年4月から平成5年3月までの間)	戸籍謄本又は死亡診断書、死亡した時点までの源泉徴収票又は確定申告書(控)の写、退職金支給・退職一時金証明書、保険金支払証明書	市区町村役場又は医師、元勤務先、保険会社等
	入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合 (平成4年4月から平成5年3月までの間)	罹災証明書、保険金証明書	警察署、消防署又は市区町村役場、保険会社等
5	年金・恩給受給者がいる場合 (70才以上は全員)	最新の受給額通知書の写	
6	生活保護を受けている場合	生活保護被保護者証明書(扶助料額を記入してあるもの)	社会福祉事務所
7	無職無収入の者がいる場合(主婦・就学者・結婚のため退職した姉等を除く)	無職証明書	市区町村の民生委員
8	雇用保険金を受けている場合	雇用保険金受給証明書	職業安定所
9	障害者がいる場合	障害者手帳の写	
10	長期療養中(6か月以上)の者がいる場合	診断書及び医療費支払証明書	病院、医院

該 当 事 項		添 付 証 明 書	発 行 先
11	家計支持者が別居(単身赴任等)している場合	別居先での住居費、光熱水道費の領収書	
12	臨時所得(6か月以内)の発生事由(退職、死亡、譲渡等)がある場合	退職金支給証明書(又は無支給証明書)、保険金支払証明書等	元勤務先・保険会社等
13	所得証明書の配偶者控除・扶養控除した人員数が世帯人員数と合致しない場合	世帯全員の住民票	市区町村役場
14	家族に就学者(本人及び小・中学生を除く)がいる場合	証明願(所定様式)	就学者が在学する学校(進学する場合は進学先の学校の証明)

3. 免除の額

上記1の(1)、(2)及び(3)の事由に該当する者は、願い出により納付すべき前期授業料の全額又は半額が免除されることがあります。

4. 免除申請書の提出

前期分の授業料免除の申請については、平成5年3月26日から4月6日までに教養部学生係へ提出してください。

受付時間は、次のとおりです。

・平日 9時～17時(時間厳守)

ただし、土曜日、日曜日は受付しません。

5. 授業料免除における収入限度額

授業料免除を申請するひとつの目安は、所得の種類、世帯の構成、通学形態等により異なるので一概にいえませんが、例えば、本人が自宅通学者で、世帯の年間収入総額が給与所得のみの場合は、おおむね下記の金額以下になります。

なお、世帯構成は、次のとおり想定し、試算したものです。

4人世帯一両親・本人・公立高校生

5人世帯一両親・本人・公立高校生・中学生

級 地	世 帯	収入金額
A 級 地 (大都市等)	4人世帯	560万円
	5人世帯	614万円
B 級 地 (A級地以外)	4人世帯	545万円
	5人世帯	598万円

## 6. 注意事項

- (1) 免除申請希望者は、入学手続期間中に授業料を納付しないでください。（納付した場合は免除申請できません。）
- (2) 免除申請した者は、選考の結果が発表されるまで授業料の納付を猶予されるので納付しないよう注意してください。（納付した場合は免除されません。）
- (3) 免除されなかった者又は半額免除になった者は、その決定があった後すみやかに授業料を納付してください。  
納付しない場合は、除籍となるので注意してください。

## 4 奨学制度について

日本育英会には、学業成績が優秀で、経済的理由により学資支弁の困難な学生に対し、選考の上、次のとおり奨学金を貸与する制度〔第一種奨学金（無利子貸与制度）と第二種奨学金（有利子貸与制度）の2本立て〕があります。

○自宅通学 貸与月額 32,000円

○自宅外通学 貸与月額 38,000円

本学では、全学生の約21.3%（平成4年9月1日現在）の学生が日本育英会の奨学金の貸与を受けています。

なお、日本育英会のほか、地方公共団体、会社、財団など29団体の奨学制度があります。

## 5 学生寮

### 1. 学生寄宿舍（学寮）について

本学には次の3寮があり、いずれも鉄筋コンクリート4階建です。

学 生 寮 名	北溟寮（男子寮）	泉学寮（男子寮）	白梅寮（女子寮）
定 員	396名	194名	164名
5年度募集予定	約170名		約50名
寄宿料（月額）	700円		
諸経費（月額 夕食費を含む）	約13,000円	約13,000円	約12,000円
所 在 地	金沢市 弥生1-26-5	金沢市 野町5-8-10	金沢市 泉野町2-13-1

居室は、1室2人収容で各室とも机、椅子、本棚等が備えつけられており、各寮とも食堂、自炊室、浴室、娯楽室、洗濯室等が設備されています。

なお、食事は、土曜日・日曜日・祝日及び長期休暇中を除いた期間の夕食のみ行っています。

また、風呂は、長期休暇中を除く隔日に実施しております。

### 2. 入寮出願手続き

- (1) 学生寄宿舍へ入寮を希望し、入寮願・家計調書の用紙を請求する場合は、封筒の表に「入寮願書請求」と朱書きし、返信用封筒（定形の封筒9cm×21cm）に62円切手を貼り、受信人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、同封のうえ請求してください。

なお、来学の上、請求される場合は、平日（月～金曜日）の8時30分から17時とします。

- (2) 入寮願書の請求及び提出先

〒920 金沢市丸の内1番1号

金沢大学学生部厚生課厚生第二係

T E L 0762-62-4281（内線287番）

- (3) 提出書類等

① 入寮願（所定の用紙）

② 家計調査（所定の用紙）

※生計を一にする世帯内で所得のある者全員分について、以下の書類を添付してください。

A. 平成3年分の所得証明書（市区町村長発行）

B. 平成4年分の所得を明らかにする書類（源泉徴収票の写、確定申告書（控）の写、年金受給額通知書の写等）

C. 返信用封筒（角型3号 21.6cm×27.7cm）〔選考結果の通知に使用〕封筒に自分の郵便番号、住所、氏名を明記し、330円切手を貼ったもの

- (4) 入寮願書提出期限

平成5年3月25日（木）必着

（入寮願書は、合格者発表及び入学手続き以前に提出されても結構です。）

注 期日までに提出されても、書類の不備なものは受理しないので、所要事項を確認のうえ、提出してください。

### 3. 入寮選考

提出された書類に基づき、主として家計の経済的困窮度により選考します。

なお、経済的困窮度の計算は、日本育英会の家計基準の判定方法に準じて行います。

### 4. 入寮選考結果通知

選考の結果は、入寮願提出者全員に対し、3月30日頃通知します。（男子は入寮を指定して通知します。）

なお、電話等による問い合わせには応じません。

### 5. 注意事項

入寮願書には、生計を一にする世帯内で所得のある者全員（年金受給者を含む）について、市区町村長発行の「平成3年分の所得証明書」及び「平成4年分の源泉徴収票又は確定申告書（控）の写」の添付が必要ですから早めに準備しておいてください。

6 下宿・貸間等の紹介

下宿・貸間等の紹介は、次のとおり行います。

○平成5年3月12日（金）～ 3月14日（日）

学生会館（金沢市丸の内1番1号）

○平成5年3月15日（月）以降の、土・日曜日及び祝日を除く毎日

学生部厚生課（金沢市丸の内1番1号）

紹介時間 9時～12時及び13時～16時

参 考

家賃・部屋代等は所在地、部屋、食事等の条件により異なりますが、おおよそ次のとおりです。

畳 数	下 宿（2食付）	貸 間	アパート
4.5 畳	35,000～42,000円	12,000～17,000円	13,000～27,000円
6 畳	40,000～50,000円	15,000～22,000円	15,000～42,000円
8 畳	42,000～50,000円	17,000～22,000円	16,000～43,000円
備 考	電気、ガス、水道料別 敷金・礼金各1～2ヵ月		

なお、入居希望者に十分対処できる数は確保されております。

7 アルバイト

学資補助のため止むを得ずアルバイトをする学生のために、学生部厚生課でアルバイトのあっ旋を行っております。

ただし、新入生に対しては、学生生活に慣れるまでの2ヵ月間は、あっ旋を行いません。

1日当りの平均賃金は、事務 4,500円～ 7,000円、軽労働 5,000円～ 8,000円、重労働 5,200円～ 10,000円、家庭教師は月20,000円～32,000円程度（週2回）です。

8 保健管理センター

センターは、学生の保健管理に関する専門的業務を行うための施設として設置され、心身の健康の増進を図ることが目的です。

また、必要に応じて応急処置を行います。治療のための施設ではなく、積極的な健康の保持増進に主眼が置かれており、定期健康診断を始め健康相談、健康指導、学生相談等の業務を行っています。

9 学生健康保険組合

この組合は、本学学生を対象とし、学生の健康保持及び疾病負傷について相互に救済することを目的としています。

本学の全学生が組合員（組合費納入者）となり、在学中、病気になったり負傷した場合は、必要な治療を受け、速やかに健康を回復して学業や研究に励むことができるように、学生の互助によってその医療費を救済し、各自の負担を軽減しようとするものです。

組合費は、年額 2,000円で修業年限に応じてその全額を納入してください。

給付には、医療給付と弔慰金があります。

・医療給付

病気や負傷により診療機関（保険診療をする病院、医院、診療所など）で診療を受けた場合は、医療費総額の 2.5割以内を組合員の請求に基づいて給付します。

ただし、年間1人に給付する最高限度額は40,000円です。

・弔慰金

組合員が不幸にして死亡した場合は、10,000円が保証人に支払われます。

10 学生教育研究災害傷害保険

災害傷害保険は、学生が教育研究活動中の急激かつ偶然な外来の事故によって身体に傷害を被った場合の救済処置として、全国の国・公・私立大学の学生を対象とした補償制度です。

この保険は、学生の互助共済を基本としているため、本学では、全学生を加入させることとしております。



# 11 入学志願者，受験者，合格者，入学者

平成4年度 (その一)

学部	学 科・課 程	日程	募集人員	志 願 者	志願倍率	受 験 者	受験倍率	合 格 者	競争倍率	学 生 数		
										入 男	学 女	者 計
文学部	行 動 科 学 科	A	50	87( 45)	1.7	87( 45)	1.7	68( 40)	1.3	23	36	59
	史 学 科		60	<sup>(2)</sup> ※1 179( 66)	3.0	<sup>(2)</sup> 176( 66)	2.9	※1 65( 27)	2.7	※1 36	24	※1 60
	文 学 科		60	144(108)	2.4	139(106)	2.3	70( 57)	2.0	11	49	60
	計		170	<sup>(2)</sup> ※1 410(219)	2.4	<sup>(2)</sup> 402(217)	2.4	※1 203(124)	2.0	※1 70	109	※1 179
教育学部	小学校教員養成課程	A	100	182(140)	1.8	176(135)	1.8	122( 96)	1.4	17	74	91
	中学校教員養成課程		50	<sup>(1)</sup> 139( 76)	2.8	131( 72)	2.6	71( 38)	1.8	26	29	55
	高等学校教員養成課程(保健体育)		20	51( 24)	2.6	48( 22)	2.4	25( 10)	1.9	15	10	25
	豊学校教員養成課程		15	32( 26)	2.1	32( 26)	2.1	15( 11)	2.1	4	11	15
	養護学校教員養成課程小学部		15	31( 25)	2.1	31( 25)	2.1	11( 10)	2.8	1	9	10
	養護学校教員養成課程中学部		5	21( 18)	4.2	20( 17)	4.0	5( 5)	4.0	0	2	2
	言語障害児教育教員養成課程		20	43( 38)	2.2	42( 37)	2.1	23( 21)	1.8	2	21	23
	総 合 科 学 課 程		40	135( 68)	3.4	132( 66)	3.3	59( 35)	2.2	18	26	44
	ス ポ ー ツ 科 学 課 程		30	103( 28)	3.4	93( 26)	3.1	36( 13)	2.6	23	12	35
	計	295	<sup>(1)</sup> 737(443)	2.5	705(426)	2.4	367(239)	1.9	106	194	300	
法 学 部	法 学 科	A	215	513(111)	2.4	484(105)	2.3	276( 70)	1.8	175	60	235
経済学部	経 済 学 科	前	182	<sup>(12)</sup> ※1 430( 50)	2.4	<sup>(7)</sup> 417( 48)	2.3	<sup>(2)</sup> ※1 194( 31)	2.1	178	<sup>(1)</sup> ※1 37	<sup>(1)</sup> ※1 215
		後	33	217( 31)	6.6	145( 22)	4.4	36( 9)	4.0			
	計	215	<sup>(12)</sup> ※1 647( 81)	3.0	<sup>(7)</sup> 562( 70)	2.6	<sup>(2)</sup> ※1 230( 40)	2.4	178	<sup>(1)</sup> ※1 37	<sup>(1)</sup> ※1 215	
理学部	数 学 科	前	30	65( 15)	2.2	64( 15)	2.1	31( 6)	2.1	27	8	35
		後	5	34( 2)	6.8	16( 1)	3.2	10( 0)	1.6			
	物 理 学 科	前	30	114( 3)	3.8	109( 3)	3.6	32( 1)	3.4	34	1	35
		後	5	30( 3)	6.0	30( 3)	6.0	5( 0)	6.0			
	化 学 科	前	30	76( 15)	2.5	71( 14)	2.4	33( 8)	2.2	33	9	42
		後	10	81( 18)	8.1	40( 9)	4.0	12( 3)	3.3			
	生 物 学 科	前	20	44( 12)	2.2	42( 12)	2.1	22( 6)	1.9	18	7	25
		後	5	19( 5)	3.8	9( 3)	1.8	6( 2)	1.5			
医学部	地 学 科	前	28	67( 14)	2.4	64( 14)	2.3	30( 8)	2.1	27	9	36
		後	7	32( 7)	4.6	12( 1)	1.7	7( 1)	1.7			
	計	170	562( 94)	3.3	457( 75)	2.7	188( 35)	2.4	139	34	173	
医学部	医 学 科	前	90	<sup>(1)</sup> 474( 73)	5.3	<sup>(1)</sup> 447( 67)	5.0	<sup>(1)</sup> 91( 22)	4.9	<sup>(1)</sup> 76	24	<sup>(1)</sup> 100
		後	10	90( 16)	9.0	58( 9)	5.8	10( 1)	5.8			
	計	100	<sup>(1)</sup> 564( 89)	5.6	<sup>(1)</sup> 505( 76)	5.1	<sup>(1)</sup> 101( 23)	5.0	<sup>(1)</sup> 76	24	<sup>(1)</sup> 100	

（その二）												
学部	学 科・課 程	日程	募集 人員	志 願 者	志願 倍率	受 験 者	受験 倍率	合 格 者	競争 倍率	入 学 者		
										入 男	学 女	者 計
薬学部	薬 学 科	前	30	78( 52)	2.6	72( 52)	2.4	32( 22)	2.3	18	26	44
		後	10	160( 76)	16.0	100( 50)	10.0	20( 9)	5.0			
	製 薬 化 学 科	前	30	94( 60)	3.1	92( 59)	3.1	33( 19)	2.8	23	23	46
		後	10	132( 47)	13.2	81( 23)	8.1	27( 10)	3.0			
	計			80	464(235)	5.8	345(184)	4.3	112( 60)	3.1	41	49
工学部	土 木 建 設 工 学 科	前	③93	<sup>(6)⑩</sup> 358( 22)	3.8	<sup>(4)</sup> 347( 22)	3.7	<sup>(1)④</sup> 103( 8)	3.4	<sup>(1)</sup> ③106	①9	<sup>(1)</sup> ④115
		後	20	57( 6)	2.9	36( 3)	1.8	20( 1)	1.8			
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	前	④134	<sup>(1)※1⑭</sup> 356( 3)	2.7	342( 3)	2.6	④※1 144( 2)	2.4	③※1 162	①2	④※1 164
		後	30	71( 3)	2.4	27( 1)	0.9	25( 0)	1.1			
	物 質 化 学 工 学 科	前	⑤100	<sup>(1)※3⑭</sup> 233( 27)	2.3	<sup>(1)</sup> 227( 27)	2.3	⑥※3 108( 15)	2.1	⑤※2 110	①15	⑥※3 125
		後	25	106( 16)	4.2	46( 4)	1.8	30( 2)	1.5			
	電 気 ・ 情 報 工 学 科	前	③100	<sup>(2)※1⑮</sup> 254( 12)	2.5	<sup>(1)</sup> 245( 12)	2.5	①※1 104( 4)	2.4	①※1 118	5	①※1 123
		後	23	83( 5)	3.6	30( 3)	1.3	27( 3)	1.1			
	計		⑮525	<sup>(10)※5④⑨</sup> 1,518( 94)	2.9	<sup>(6)</sup> 1,300( 75)	2.5	<sup>(1)⑮※5</sup> 561( 35)	2.3	<sup>(12)※4</sup> ①496	③※1 31	⑮※5 ①527
	合 計		⑮1,770	<sup>(26⑩)</sup> ※7(2)④⑨ 5,415(1,366)	3.1	<sup>(16④)</sup> 4,760(1,228)	2.7	<sup>(4①)⑮</sup> ※7(2) 2,038(626)	2.3	<sup>(12)※5</sup> ②1,281	③※2 ①538	⑮※7 ③1,819

- (注) 1. ( ) は女子，○は工業教員養成課程でそれぞれ内数。  
2. 合格者には，追加合格者を含まない。  
3. ( ) は私費外国人留学生，※は外国人特別学生(国費及び政府派遣留学生)でそれぞれ外数(国費留学生：文学部史学科1名)。  
4. 本表には，「推薦入学」・「帰国子女」を含む。

平成3年度

(その一)

学部	学 科・課 程	日 程	募集 人員	志 願 者	志願 倍率	受 験 者	受験 倍率	合 格 者	競争 倍率	入 学 者		
										入 男	女	計
文学部	行 動 科 学 科		50	[3]98( 51)	2.0	[2]94( 49)	1.9	59( 38)	1.6	20	30	50
	史 学 科		45	[1]109( 30)	2.4	102( 27)	2.3	50( 9)	2.0	39	7	46
	文 学 科	A	60	[3]※1 168(120)	2.8	[3]159(116)	2.7	※1 65( 50)	2.4	13	※1 46	※1 59
	計		155	[7]※1 375(201)	2.4	[5]355(192)	2.3	※1 174( 97)	2.0	72	※1 83	※1 155
教育学部	小学校教員養成課程		100	289(216)	2.9	278(207)	2.8	110( 85)	2.5	22	75	97
	中学校教員養成課程		50	151( 87)	3.0	144( 82)	2.9	62( 33)	2.3	26	24	50
	高等学校教員養成課程(保健体育)		20	56( 19)	2.8	54( 19)	2.7	26( 8)	2.1	15	7	22
	聾学校教員養成課程		15	66( 59)	4.4	65( 58)	4.3	14( 9)	4.6	4	8	12
	養護学校教員養成課程小学部	A	15	51( 42)	3.4	50( 42)	3.3	12( 9)	4.2	2	8	10
	養護学校教員養成課程中学部		5	25( 17)	5.0	24( 17)	4.8	4( 3)	6.0	1	3	4
	言語障害児教育教員養成課程		20	65( 59)	3.3	65( 59)	3.3	25( 22)	2.6	2	20	22
	総合科学課程		40	220(104)	5.5	212(102)	5.3	64( 28)	3.3	23	25	48
	スポーツ科学課程		30	107( 33)	3.6	100( 30)	3.3	35( 10)	2.9	20	10	30
	計		295	1,030(636)	3.5	992(616)	3.4	352(207)	2.8	115	180	295
法学部	法 学 科	A	200	[1]663(139)	3.3	[1]631(134)	3.2	[1]223( 58)	2.8	147	53	200
経済学部	経 済 学 部	前	170	[17]692( 89)	4.1	[14]669( 88)	3.9	[1]179( 30)	3.7	[1]161	40	[1]201
		後	30	485( 55)	16.2	396( 43)	13.2	33( 7)	12.0			
	計		200	[17]1,177(144)	5.9	[14]1,065(131)	5.3	[1]212( 37)	5.0	[1]161	40	[1]201
理学部	数 学 科	前	30	53( 9)	1.8	53( 9)	1.8	31( 5)	1.7			
		後	5	54( 8)	10.8	31( 5)	6.2	5( 0)	6.2	31	5	36
	物 理 学 科	前	30	123( 9)	4.1	118( 9)	3.9	33( 3)	3.6			
		後	5	13( 3)	2.6	13( 3)	2.6	5( 1)	2.6	33	3	36
	化 学 科	前	30	81( 17)	2.7	76( 16)	2.5	34( 6)	2.2			
		後	10	76( 19)	7.6	28( 5)	2.8	11( 1)	2.5	36	6	42
	生 物 学 科	前	20	[1]40( 8)	2.0	[1]40( 8)	2.0	22( 4)	1.8			
		後	5	18( 6)	3.6	12( 4)	2.4	5( 1)	2.4	22	5	27
地学部	地 学 科	前	28	70( 10)	2.5	69( 10)	2.5	29( 0)	2.4			
		後	7	20( 3)	2.9	13( 2)	1.9	7( 2)	1.9	33	2	35
	計		170	[1]548( 92)	3.2	[1]453( 71)	2.7	182( 23)	2.5	155	21	176
医 学 部	医 学 科	A	100	[2]618( 87)	6.2	[2]573( 84)	5.7	[1]110( 15)	5.2	90	14	104
薬学部	薬 学 科	前	35	71( 54)	2.0	69( 52)	2.0	37( 27)	1.9			
		後	5	41( 25)	8.2	41( 25)	8.2	10( 4)	5.9	10	29	39
	製 薬 化 学 科	前	35	92( 53)	2.6	88( 49)	2.5	38( 23)	2.3			
		後	5	38( 16)	7.6	38( 16)	7.6	7( 2)	3.8	18	25	43
	計		80	242(148)	3.0	236(142)	3.0	92( 56)	2.6	28	54	82

(その二)

学部	学 科・課 程	日 程	募集 人員	志 願 者	志願 倍率	受 験 者	受験 倍率	合 格 者	競争 倍率	入 学 者		
										入 男	女	計
工学部	土 木 建 設 工 学 科	前	③93	[3]⑤ 341( 12)	3.7	326( 12)	3.5	④101( 6)	3.2			
		後	20	75( 9)	3.8	46( 6)	2.3	23( 3)	2.0	③106	①7	④113
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	前	④134	[2]※1⑦ 337( 4)	2.5	[1]325( 3)	2.4	⑥※1 142( 1)	2.3	⑥※1 162	2	⑥※1 164
		後	30	98( 2)	3.3	52( 2)	1.7	33( 1)	1.6			
薬学部	物 質 化 学 工 学 科	前	⑤100	[1]※1⑦ 385( 36)	3.9	[1]375( 35)	3.8	③※1 105( 9)	3.6	③※1 114	11	③※1 125
		後	25	102( 15)	4.1	43( 5)	1.7	31( 3)	1.4			
	電 気 ・ 情 報 工 学 科	前	③93	[6]※2④ 326( 16)	3.5	[6]317( 15)	3.4	[1]②※2 94( 5)	3.4	①※2 106	8	①※2 114
		後	20	88( 6)	4.4	42( 3)	2.1	25( 3)	1.7			
合 計	計		⑤515	[12]※4⑤ 1,752(100)	3.4	[8]1,526( 81)	3.0	[1]⑤※4 554( 31)	2.8	③※4 488	①28	④※4 516
	計		⑤1,715	[40①]⑤ 6,405(1,547)	※5	[31(7)] 5,831(1,451)	3.7	[4]⑤※5(1) 1,899(524)	3.1	③※4 1,256	①※1 473	④※5 1,729

- (注) 1. ( )は女子, ○は工業教員養成課程でそれぞれ内数。  
2. 合格者には, 追加合格者を含まない。  
3. ( )は私費外国人留学生, ※は外国人特別学生(政府派遣留学生)でそれぞれ外数。  
4. 薬学部(後期日程)の薬学科の競争倍率は, 第2志望合格者が3人のため, 薬学科の合格者を7人, 製薬化学科の合格者を10人として算出してある。  
5. 本表には, 「推薦入学」を含む。

## 平成2年度

(その一)

学部	学 科・課 程	日程	募集 人員	志 願 者	志願 倍率	受 験 者	受験 倍率	合 格 者	競争 倍率	入 学 者		
										入 男	女	計
文学部	行 動 科 学 科	A	50	114( 50)	2.3	112( 49)	2.2	58( 32)	1.9	22	28	50
	史 学 科		45	138( 36)	3.1	130( 32)	2.9	53( 19)	2.5	29	16	45
	文 学 科		60	193(140)	3.2	185(135)	3.1	70( 55)	2.6	14	46	60
	計		155	445(226)	2.9	427(216)	2.8	181(106)	2.4	65	90	155
教育学部	小学校教員養成課程	A	100	231(178)	2.3	224(173)	2.2	139(116)	1.6	20	106	126
	中学校教員養成課程		50	<sup>[1]</sup> 188(119)	3.8	<sup>[1]</sup> 185(118)	3.7	<sup>[1]</sup> 69( 43)	2.7	18	<sup>[1]</sup> 30	<sup>[1]</sup> 48
	高等学校教員養成課程		20	46( 16)	2.3	42( 15)	2.1	23( 8)	2.3	13	5	18
	聾学校教員養成課程		15	38( 34)	2.5	37( 33)	2.5	15( 13)	2.5	0	12	12
	養護学校教員養成課程小学部		15	36( 29)	2.4	33( 26)	2.2	16( 14)	2.1	2	9	11
	養護学校教員養成課程中学部		5	18( 9)	3.6	18( 9)	3.6	5( 3)	3.6	2	1	3
	言語障害児教育教員養成課程		20	66( 58)	3.3	65( 57)	3.3	23( 21)	2.8	2	16	18
	総合科学課程		40	229(122)	5.7	219(115)	5.5	58( 33)	3.8	18	25	43
	スポーツ科学課程		30	108( 37)	3.6	99( 34)	3.3	35( 9)	2.5	23	9	32
	計		295	<sup>[1]</sup> 960(602)	3.3	<sup>[1]</sup> 922(580)	3.1	<sup>[1]</sup> 383(260)	2.4	98	<sup>[1]</sup> 213	<sup>[1]</sup> 311
法	法 学 科	A	200	791(150)	4.0	762(146)	3.8	239( 59)	3.2	152	50	202
経	経 済 学 科	A	200	<sup>[14]</sup> 713( 79)	3.6	<sup>[11]</sup> 689( 78)	3.4	<sup>[2]</sup> ※1 265( 42)	2.6	<sup>[2]</sup> ※1 188	39	<sup>[2]</sup> ※1 227
理学部	数 学 科	前	30	89( 22)	3.0	86( 21)	2.9	33( 8)	2.6			
		後	5	66( 9)	13.2	36( 5)	7.2	5( 1)	7.2	26	8	34
	物 理 学 科	前	30	129( 4)	4.3	127( 4)	4.2	33( 1)	3.8			
		後	5	29( 0)	5.8	16( 0)	3.2	5( 0)	3.2	33	1	34
	化 学 科	前	30	124( 25)	4.1	119( 25)	4.0	35( 8)	3.4			
		後	10	84( 25)	8.4	52( 15)	5.2	10( 4)	5.2	29	12	41
	生 物 学 科	前	20	43( 15)	2.2	42( 15)	2.1	21( 8)	2.0			
		後	5	28( 6)	5.6	17( 2)	3.4	5( 1)	3.4	17	8	25
	地 学 科	前	20	71( 18)	3.6	69( 18)	3.5	25( 5)	2.8			
		後	5	28( 3)	5.6	12( 0)	2.4	5( 0)	2.4	24	5	29
	計		160	691(127)	4.3	576(105)	3.6	177( 36)	3.3	129	34	163
医	医 学 科	A	100	<sup>[2]</sup> 582( 64)	5.8	<sup>[1]</sup> 558( 62)	5.6	110( 10)	5.1	87	13	100
薬学部	薬 学 科	前	35	65( 39)	1.9	61( 36)	1.7	37( 26)	2.3			
		後	5	60( 29)	12.0	60( 29)	12.0	10( 3)	6.0	15	27	42
	製 薬 化 学 科	前	35	135( 79)	3.9	133( 79)	3.8	37( 24)	2.8			
		後	5	76( 30)	15.2	76( 30)	15.2	11( 3)	6.9	17	26	43
	計		80	336(177)	4.2	330(174)	4.1	95( 56)	3.5	32	53	85

(その二)

学部	学 科・課 程	日程	募集 人員	志 願 者	志願 倍率	受 験 者	受験 倍率	合 格 者	競争 倍率	入 学 者		
										入 男	女	計
工学部	土 木 建 設 工 学 科	前	③93	⑧319( 11)	3.4	308( 11)	3.3	②106( 4)	2.9	②		②
		後	20	68( 3)	3.4	44( 3)	2.2	20( 2)	2.2	109	4	113
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	前	④134	⑩428( 2)	3.2	421( 2)	3.1	③※1 142( 1)	3.0	※1		※1
		後	30	109( 1)	3.6	69( 0)	2.3	31( 0)	2.2	③163	1	③164
	物 質 化 学 工 学 科	前	⑤100	②5288( 24)	2.9	278( 22)	2.8	⑧114( 7)	2.4	⑧		⑧
		後	25	132( 13)	5.3	71( 7)	2.8	25( 4)	2.8	116	9	125
	電 気 ・ 情 報 工 学 科	前	③93	②205( 6)	2.2	②201( 6)	2.2	②※1② 100( 3)	2.0	①※1		①※1
		後	20	72( 0)	3.6	26( 0)	1.3	20( 0)	1.3	②114	3	②117
	計		⑮515	②21,621( 60)	3.1	②1,418( 51)	2.8	②※2⑮ 588( 21)	2.5	①※2 ⑮502	17	①※2 ⑮519
	合 計		1,705	①19(4) ※3⑤ 6,139(1,485)	3.6	①15(3) 5,682(1,412)	3.3	⑤(1)※3⑮ 2,008(590)	2.8	③※3 ⑮1,253	①509	④※3 ⑮1,762

- (注) 1. ( )は、女子、○は工業教員養成課程でそれぞれ内数。合格者には、追加合格者を含まない。  
2. [ ]は私費外国人留学生、※は外国人特別学生（政府派遣留学生）でそれぞれ外数。  
3. 教育学部の高等学校教員養成課程及びスポーツ科学課程の競争倍率は、第2志望合格者が5人のため、前者の合格者を18人（推薦を含む）、後者の合格者を40人（推薦を含む）として算出している。  
4. 薬学部（前期日程）の薬学科及び製薬化学科の競争倍率は、第2志望合格者が10人のため、前者の合格者を27人、後者の合格者を47人として算出している。  
5. 本表には、「推薦入学」を含んでいる。



# 12 卒業後の進路 (平成3年度卒業生)

平成4年5月1日現在

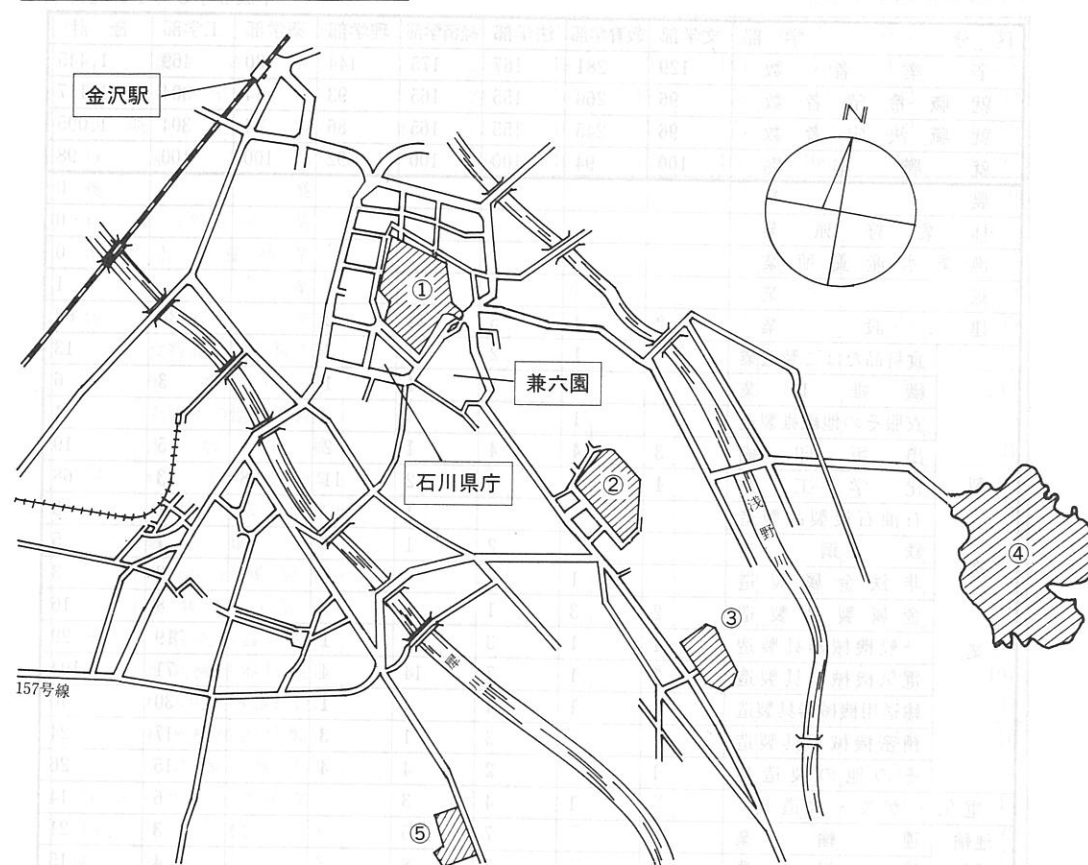
区 分	学 部	文学部	教育学部	法学部	経済学部	理学部	薬学部	工学部	合 計
卒 業 者 数		132	275	190	191	145	75	490	1,498
就 職 希 望 者 数		93	244	165	175	72	41	302	1,092
就 職 決 定 者 数		93	211	165	175	72	41	302	1,059
就 職 率 %		100	86	100	100	100	100	100	97
農 業									0
林 業・狩 猟 業									0
漁 業水産養殖業									0
鉱 業				1		3		2	6
建 設 業		1	2	2	8	2		38	53
製 造 業	食料品たばこ製造業	1	5	3	4	1		1	15
	織 維 工 業	1	2	2	1			6	12
	衣服その他繊維製造	2	2					1	5
	出 版 印 刷	5	4	4	3	2		3	21
	化 学 工 業		1	2	3	7	29	21	63
	石油石炭製品製造				1				1
	鉄 鋼 業				2	2		5	9
	非鉄金属製造		2			1		4	7
	金属製品製造	1	3		4			8	16
	一般機械器具製造	1		1	6	6		17	31
	電気機械器具製造	3	6	8	15	9		66	107
	輸送用機械器具製造	2		4	8			19	33
	精密機械器具製造			2	1			13	16
	その他の製造業	3	2		4			19	28
電 気・ガ ス・水 道 業				4	2			6	12
運 輸 業	運 輸 業	4	2	7	5			5	23
通 信 業	通 信 業	2		2	3	1		4	12
卸 売 業	卸 売 業	4	1	6	9	3		7	30
小 売 業	小 売 業	3	2	4	3	2		1	15
金 融 保 険 業	銀 行 信 託 業	2	1	29	28	2			62
	証 券 商 品 取 引 業	2	2	2	8				14
	保 険 業		1	8	11	1		1	22
	その他の金融保険			2	4				6
不 動 産 業			1					2	3
マ ス コ ミ	新 聞・出 版	3	1		2				6
	ラ ジ オ・テ レ ビ	1	1		5			1	8
サ ー ビ ス 業	医 療 保 健 業	1	2				4		7
	法 務								0
	教 育	7	95		2	10	1	2	117
	宗 教								0
	非営利的団体		2		1				3
	情 報 処 理 業	23	54	10	16	11		30	144
公 務	国 家 公 務	5	6	12	4	1	1		29
	地 方 公 務	10	9	43	12	6	5	19	104
そ の 他		6	2	7		2	1	1	19
小 計		93	211	165	175	72	41	302	1,059
大 学 院 進 学 等		39	64	25	16	73	34	188	439
合 計		132	275	190	191	145	75	490	1,498

# (平成2年度卒業生)

平成3年5月1日現在

区 分	学 部	文学部	教育学部	法学部	経済学部	理学部	薬学部	工学部	合 計
卒 業 者 数		129	281	167	175	144	80	469	1,445
就 職 希 望 者 数		96	260	155	165	93	44	304	1,117
就 職 決 定 者 数		96	245	155	165	86	44	304	1,095
就 職 率 %		100	94	100	100	92	100	100	98
農 業									0
林 業・狩 猟 業									0
漁 業水産養殖業									0
鉱 業				1					1
建 設 業		2	4	5	12	2		38	63
製 造 業	食料品たばこ製造業		1	2	7	3			13
	織 維 工 業			1	1	1		3	6
	衣服その他繊維製造		1						1
	出 版 印 刷	3	4	4	1	2		5	19
	化 学 工 業	1		3	2	11	28	23	68
	石油石炭製品製造				1			2	3
	鉄 鋼 業			2	1	1		1	5
	非鉄金属製造		1					2	3
	金属製品製造	2	3	1	2			8	16
	一般機械器具製造	1	1	3	4	1		19	29
	電気機械器具製造	7	1	7	14	4		71	104
	輸送用機械器具製造		1	4	4	1		30	40
	精密機械器具製造			3	1	3		17	24
	その他の製造業	1		2	4	4		15	26
電 気・ガ ス・水 道 業			1	4	3			6	14
運 輸 業	運 輸 業	6		7	5			3	21
通 信 業	通 信 業			3	8			4	15
卸 売 業	卸 売 業		1	5	7	1		6	20
小 売 業	小 売 業	4	3	1	2			2	12
金 融 保 険 業	銀 行 信 託 業	4	5	21	22	2		6	60
	証 券 商 品 取 引 業		2	1	4			2	9
	保 険 業	4	3	15	8		1	1	32
	その他の金融保険		2	1	2				5
不 動 産 業					1				1
マ ス コ ミ	新 聞・出 版		2	3	1				6
	ラ ジ オ・テ レ ビ	2	2	2	4			1	11
サ ー ビ ス 業	医 療 保 健 業	2	1			1		7	11
	法 務								0
	教 育	17	125			10	2		154
	宗 教								0
	非営利的団体	1		2	1	3	1		8
	情 報 処 理 業	22	59	3	17	26		20	147
公 務	国 家 公 務	3	2	11	7	1		3	27
	地 方 公 務	13	18	36	14	8	4	16	109
そ の 他		1	2	2	5	1	1		12
小 計		96	245	155	165	86	44	304	1,095
大 学 院 進 学 等		33	36	12	10	58	36	165	350
合 計		129	281	167	175	144	80	469	1,445

# 金沢大学所在地略図



## 注 意

試験場は各学部校舎となる予定である。ただし、志願者数によっては、本学教養部・金沢市内の公立高校等もあり得るので、受験票送付の際同封する「確定試験場及び試験場案内」により確認すること。

	団 地	学 部 等
①	丸 の 内 団 地	教 養 部 事 務 局
②	宝 町 団 地	医 学 部 薬 学 部
③	小 立 野 団 地	工 学 部
④	角 間 団 地	文 学 部 教 育 学 部 法 学 部 経 済 学 部 理 学 部
⑤	平 和 町 団 地	附 属 高 等 学 校

## 受験者の宿泊

大学では、宿泊の斡旋をしないので、必要とする受験者において確保すること。

なお、金沢市旅館協同組合が下記のとおり斡旋を行っていますので、申込用紙等は早めに取り寄せてください。

## 記

### 1 宿泊料（1泊2食，税別）

	個 室	2 人 部 屋	3 ～ 5 人 部 屋
A タイプ	10,000円	8,500円	7,000円
B タイプ	8,500円	7,000円	6,000円

### 2 申込方法

#### (1) 申込期限

平成5年2月5日（金）

#### (2) 申込書の請求方法

申込書の希望者は、返信用封筒（切手貼付・住所・氏名記入）を同封の上、請求してください。

なお、申込書の返送時に案内書も同時に送付されます。

（電話等による申込は、受付しませんので注意して下さい。）

### 3 申込先

金沢市旅館協同組合

〒920 金沢市本多町3丁目10番26号

電話 0762-(21) -1147



この募集要項（大学案内を含む。）の郵送を希望される方は、封筒の表に「学生募集要項請求」と朱書し、返信用封筒（角型 3 号に 360 円分切手をはり、郵便番号、住所、氏名を明記したもの）を同封の上、下記あて申し込み下さい。

金沢大学学生部入試課入学試験係

〒920 金沢市丸の内 1 番 1 号

T E L (0762) 62-4281 内線290